

競技専用は

# 《タイガー®ハンド》だけ!

みごとなプレーを  
展開してください。



**Onitsuka**  
**Tiger**

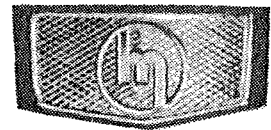
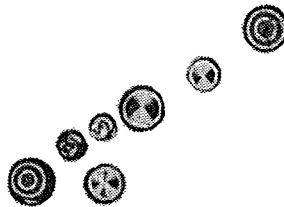
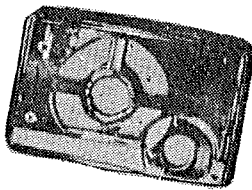
**タイガー®**  
**ハンドボールシューズ**

オニツカ株式会社 神戸・大阪・名古屋・東京・札幌

革/¥5,200  
布/¥1,300

プラスチックの総合メーカー

メッキは金属だけでは……  
……ありません!



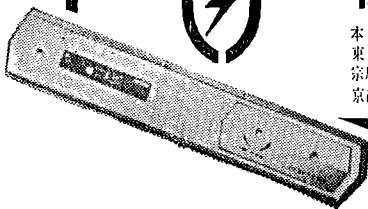
精密金型設計・製作

マイクロプラスチック成型

プラスチックメッキ

## 株式会社 宗形製作所

本社	大阪府高槻市辻子241番地	TEL 高槻 (0726) 75-5551
東北本社	福島県福島市清水町字中谷地48番地	TEL 福島 (02452) 3-2812・2911
宗形工業化学株式会社	大阪府高槻市辻子252番地の1	TEL 高槻 (0726) 75-5767~8
京都金型製作株式会社	京都市南区上鳥羽花名町19番地	TEL 京都 (075) 68-9701



相づく物価の高騰、特に昨年、今年にかけての郵便料の値上げ、更に3月に電話料、4月に国鉄の値上げ、このように今日の日本の社会の値上げ攻勢はおびただしいものがある。

当協会の財政も基本的には、40年に定められた基本線にそって、運営されており、これまでは、関係諸氏の努力とその時々の知恵によって、値上げは、45年4月に登録料を一般一千円、高校五千円変更した以外には、大きな手直しをせずにやってきた。

ところが、昨年行なったオリンピック予選、今年度のミュンヘン・オリンピック、更には強く叫ばれている底辺拡充策など、経費を多額に必要とする事業は目白押しにならんでいるにも拘らず、恒常的に必要となる事務局経費は、四十五年三七〇万円、四十六年四二〇万円と毎年五〇〜七〇万円、前年度予算の10〜20%の増額をせねばやっけない状況が続き、本年は公共料金の相づく値上げのありをまともにも受け、五五〇万という巨額を見込まなければならなくなった。

現在のままの協会の財源としては、加盟金、登録金、検定料、審判審査料、これらが順調に入金したとしても五四〇万円以上を望むことは絶対に無理である。

この他、広告料、雑誌講読料は

本誌の印刷、発送に完全に消え、これまた今年度は赤字が予想されるに至っている。

また競技力向上費は全額オリンピック対策部にふり向けることが必要であり、これも更に一〇〇万程度協会から出費せねばならない。このようにして見ると、事業費審判・技術・普及関係は全く費用なしで仕事をしなければならぬし、今夏に企画されている全日本中学大会をはじめとする従来、日本協会が行なっていた各種大会に対する補助金といったものも全く

## 日本ハンドボール協会の

### 財政危機を訴える

考えられないことになる。

これは本協会はじまって以来の財政的ピンチであり、新規事業はいうに及ばず、従来行なっていた事業も全うできないことになってしまふ。

昨年度、一昨年度ともに膨張している支出に対して、いかに処置するかがどうしても収入面による増収をはからざるを得ず、基本線としては変らない収入面をチーム類の増加、経費を緊縮させるといふ方策で何とかきりぬけてきたが、47年度はもういかんともし

がたいところにきてしまっている。オリンピック出場、中学校指導要領への復活という明るい材料の中で、財政的に全くなにもできないというのでは、将来のハンドボール界の発展は全く望めない。

ここでは、収入面の増大をはからねば、やっていけないということが、強く望まれていた。特に今年限りでこの支出面の増大にストップがかかり、48年以降減少する見込でもあるのであれば、今年のみ一時しのぎもできるであろうが、問題はハンドボール協

会に財源がないのであるから、これはどうにも仕方がない。各チームに於いては、この点を賢察頂き、我々のハンドボールは我々の手というところで、今回の評議員会の決定になった、現状に於ける抜本的な収入面の改善に協力されることを切望する。

46年度、45年度よりも大巾に減少した予算をもった各々が、それぞれの持ち場で、いかに苦勞をし各地から要望のある施策も実施できずにおわったことを残念に思っているか……

上げ潮ののっている現在のハンドボール界に必要なのは、思いきった収入面の改善策をとり、将来に備える積極策が最善の道なのであり、それには、どうしても、一人一人の選手、一つ一つのチーム一つ一つの加盟団体の一致した協力のないことには、ハンドボールのせつかくの上げ潮気運も無になつてしまふ。

以上のことを賢察いただき、将来のことをお考えいただき、ぜひとも、今回出された、財政上の施策に御協力いただけるように心からお願いをする。

ハンドボールファン全員の協力でこの財政危機をのりきりたい。ぜひとも協力を!

## 「ハンドボール」 3月号(第95号) 目次

日本ハンドボール協会の財政危機を訴える……………(1)

全国評議員会・理事会……………(2)

全国中学生大会開催……………(4)

T.H.W・キール、G.W.ダンケルセン来日……………(5)

オリンピック強化試合……………(6)

女子欧州遠征レポート……………(8)

学生界のニュース……………(17)

普及部テキスト案……………(19)

海外トピックス……………(20)

ミュンヘンオリンピック……………(20)

応援団募集……………(29)

実業団四強リーグ……………(29)

各地の記録……………(29)

編集部よりお願い……………(32)

編集後記……………(32)

【表紙写真】 オリンピック強化試合、オリンピック候補B対大阪選抜戦(2月・大阪)

(光島磯雄氏撮影)



## ルールブックも五百円に

今回審判部を中心に検討されていた。国際規約の改正にそった。ルールの大改定による新ルールブックは、印刷費の高騰という事情のため、一挙に五百円という値段がつけられた。これには、審判部長をはじめとして、かなりの難色を示されたが、印刷費の高騰をカバーするのは値上げしかないという声が強く、決定された。

## 国内日程

別表のように国内の競技会の日

昭和47年度国内日程		
GW・ダンケルセン招待	4月2～8日	各地
第4回全日本自衛隊選手権	5月19～21日	東京駒沢
昭和47年度全国(男子)実業団トーナメント	6月18～21日	岐阜市
第19回NHK杯全日本選抜大会	6月23～25日	大阪市立中央体育館
第14回全日本実業団選手権女子の部	7月12～16日	室蘭市
第23回全日本高校選手権	8月1～7日	山形県東根市
第15回全日本教職員選手権	8月16～19日	千葉県佐原市
第21回(女子第4回)全日本学生選抜東西対抗	9月15日	名古屋
第14回全日本実業団選手権男子の部	9月27～10月1日	名古屋
第27回国体ハンドボール競技	10月22～27日	鹿児島準人町
第15回(女子第8回)全日本学生選手権	11月	大阪=予定
第24回全日本総合選手権	12月5～10日	東京体育館

程が決定された。

NHK杯は、実連2、学連1、教連1(男)、実連3、学連1(女)で争われることになり、それぞれの連盟によって、出場チームを検討することになった。

日程的には、昨年の大市改正に比べると、変更は少なく、実業団の男子リーグが、オリンピックの関係もあり、9月末から10月に移ったこと、女子の実業団選手権が北海道室蘭市で開催されることに注目される。

全日本総合の出場チームは原案が提出されたが、なお検討の余地

が残され、これらは、48年以後の国体の出場ワクとの問題もからみ小委員会を設け、ねりなおされることになった。

## 国際日程

明確に決定したのは、3月から4月にかけての西ドイツクラブチームの雄、THW・キールとGWダンケルセンの両チームとの対戦とミュンヘンオリンピックへの出場、このほか、日韓の試合とし、5月に女子実業団、男女学生高校男子の交流、11月に男子実業団という日程が組まれている。

また、オリンピック対策部から提出されていたヨーロッパ遠征は財政面の関係で暗礁にのりあげているが、「上位入賞のためには外国ナショナルとの対戦が不可欠」という意見も強く3月の月例常務理事会で改めて協議することになった。

これらのほか、来日を希望しているチームはいくつかあるが、未確定な要素が多い。

## 全日本は7回の合宿

今年度の一・二次合宿を含め、三、四、五、六次合宿をそれぞれ地域で行ない、8月に最終合宿を東京で行ない、ミュンヘンに向けてオリンピック対策部の基本構想が示され、ここでは、

- 一、精神力の強化
- 一、体力の強化

一、防禦力の強化

一、攻撃に日本チームの特徴を生かす

一、基礎技術の徹底

が重要強化方針として提出されている。

## 総務企画部を理事長直轄へ

従来の総務企画部と国際部を併せ、より連絡を密にするため、総務企画部を理事長の直轄とし、この中に国際委、企画委、総務委の三委員会を置くことに機構改革がなされた。

## 副会長に徳永陸繁氏

神田氏は常務理事に

評議員会では、高体連ハンドボール部長である徳永陸繁氏を副会長に推薦することに決定した。

また、昨秋の全国会議で理事に推薦されていた神田清氏は今回の理事会で常務理事に推された。

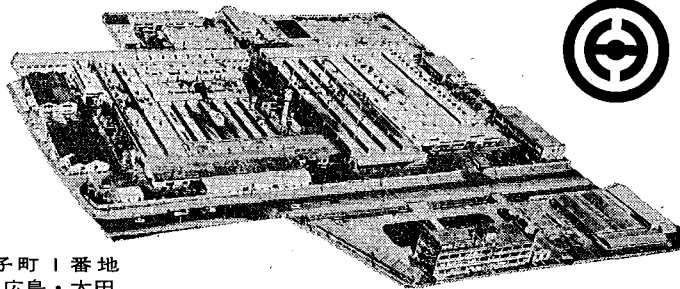
## 国際交流規定を決定

昨年来検討を重ねられていた国際交流規定はこのたびの全国会議で決定され、4月1日から施行されることになった。この全文は次号に掲載する予定であるが、その骨子は単独チームでも、外国チームを招待し、もしくは海外に出かけていくことが可能であることにある。

また、個人登録料の改訂で「登録規程」の一部が変更となった。

# NHK SPRING

## 日本発条



本社／横浜市磯子区新磯子町1番地  
支店／東京・大阪・名古屋・広島・太田

# 全国中学生大会正式に決まる

— 8月18・19日愛知県で開催 —

県案となっていた中学生の全国規模の大会は今更、愛知県で具体的に開催するメドがつかるところまでこぎつけた。

中学生問題検討会で、種々の案を練ってはいったか、今回その委員会では

期間 昭和47年8月18日、19日  
場所 愛知県青少年総合センター  
主管 愛知県ハンドボール協会  
参加チーム 全国9ブロック代表  
男女9チームと地元  
から1チーム計10チ  
ーム(1チーム14名)

の案で、具体的実施計画に入っている。

ハンドボールでも県案の中学生大会がいよいよ全国規模で開催されることになり、大きく前進したことになる。

これが一つの刺激となって、立ち遅れの嘆かかれている斯界の年少者対策が大きく前進することを望みたいものである。

しかしながら、全国大会は開催されたとしても、それをよりあげる力が各地に湧いてこないことには、一握りの中学生の全国大会になつてしまふ。

この大会を機会に根強く、根気

よく、協会が中心になっての年少者対策をきめ細く施していかねば折角の大会も一時だけのお祭りになつてしまふ。

またこの大会が開催されるのは

## 一底辺への見返りを

日本協会は2月の全国会議(評議員会理事會)で、ついに大巾な加盟金・登録金などの値上げを強行した。

別掲の関連記事でも判るとおり諸物価の高騰は日本協会財政を窮迫し、事務局の維持費だけで現収の大半を食い、頂点事業、普及事業など満足にならなかつたところまで来た。

打開する道はただ一つ、再び三たび全国関係者、加盟チームの理解と協力を得る以外になかつたのである。

理事会では底辺の負担で切り抜けることをなんとか回避しようとする空気が強かつたと伝えられるのは悲壯ときえいえよう。今後、日本協会がどのような

愛知県、同県の協会の地盤の強さはすでに定評のあるところ、従来からの年少等対策も抜群に進んでいる。各地の指導者が愛知県のキメ細い年少者対策を見て帰ることも大いに参考にならう。

この第一回の大会が成功裡に終り、全国の中学校への普及の大きな記念碑的な大会になり、広く全国へ広がることを願ってやまない

方法で組織に対して説得をつづけていくか注目されるが、いかなる理由にせよ今回の値上げが斯界の危機につながる感じをぬぐいさることはできない。

つまり、一方で頂点強化のための精鋭化を打ち出し、一方で底辺依存の経済体制をつづける矛盾だ。

あるクラブチームの主宰者は語気鋭く批判する。『全日本総合の出場チームは加盟団体偏重、団体は実業団の侵蝕を許すばかり。いったい我々は何のために日本協会へ高い登録料を払いこむのか』と。

現代気質がプラスされてこの考えかたは次第に輪を拡げださう。

とりたてるばかりで見返りのない施政は、いずれ手痛いシツペ返しを食うのではないか。将来の道を考えず目先のこと

地元を初めとする関係者各位を中心に、全国のハンドボールファンがミュンヘンオリンピックとともにこの大会を盛り上げるような努力をなされてことを切望する。

なお、日本協会では大会の運営円滑化のため、4月までに各ブロックから新選出の対策委員によって「中学生大会」の運営委員会を発足させる。

例えばルールブック代までも倍額にはねあがつたという。登録料値上げのせめてもの補いとして登録チームに1冊は無料配布ぐらいの考えは出せなかつたものか。

お金になるものはすべてという姿勢があまりにも露骨ではないのか。

このことに限らずオリンピックモードに便乗して、なんでも理解して貰えるという甘さが執行部にあるようなら、斯界の前途は赤信号である。

加盟金・登録金増収に見合う底辺対策をおろそかにするならば今回の値上げはせつなく軌道にのつた現執行部を破たんにつう危険含みといえる。

(X)

女性の美しさを創る…ファンシーヤーン

ファンシー  
生活を彩る……………ピコチカーペット  
ハイライフ



タイヨポウ

岐阜・羽島

西独の強豪相ついで来日

3月……T H W・キール  
4月……G W・ダンケルセン

日本協会はミュンヘン・オリンピック強化対策の一環として、西ドイツのトップチームを3月、4月相ついで招き国際親善試合を行うことになった。

来日するのは3月に今年度西ドイツ第3位の名門T V・ハッサー・ウインター・ベック・キール(略称T H W・キール)、4月に昨年度チャンピオン、グルンワイス(G W)・ダンケルセンの両強豪である。全日本(オリンピック候補)との対戦はそれぞれ1試合づつが予定されている。

伝統を誇る西ドイツから最上位の名門クラブがつづけて来日するのはミュンヘンオリンピックを半年後に備えて強化を急ぐ日本協会はもちろんだ、ファンにとっても朗報である。

報)、その後キール側から日程調整の連絡があったほか、同チームが今シーズン好調なこともあって招待に踏み切った。

照)西ドイツハンドボール伝統の力と技のチームプレーを身上としている。

注目されるムンク、ウエルツ  
両チームともグンメルスバッハのシュミット、G Kカーターのよ

全日本、キール戦の陣容  
日本協会はT H W・キールとの対戦する全日本のメンバー20名を次のように決め、3月9日から名古屋で合宿に入る。いずれもオリンピック第一次候補選手(25名

日本協会でははじめG W・ダンケルセンの招待だけを決め、T H W・キールについては日程的に折りあわず断念したのだが(本誌既

あり、別表のようにいずれも3試合、それも東海道圏内を転戦するだけだが、各1試合が予定されるナショナルチーム(オリンピック候補)はちようど第一段階の仕上げ期、興味深い対戦でファンの注目を集めることになるだろう。

これまで室内(7人制)よりもむしろ11人制の強豪として知られ、かつての西ドイツのエース・ルプキング(現ネットテルスタット)のホームチームだった。昨シーズ

このほかナショナルチームリストに名を連ねているのはキールではアーレンドセン、ダンケルセンではクラマー、ヴェングラだ。

▽F P近森、飯田、東(以上大崎電気)、野田、藤中、中井(以上大同製鋼)、木野、早川(以上クナガ薬品)、新実、大江(以上芝浦工大)、氷海、浅原(以上日体大)、有永(東京海上震災)、斉藤(群馬教員ク)、佐々木(中大)

日程(予定)

◇THW・キール	キール	18.30
①3月14日	対全日本(愛知県体育館)	
②3月18日	対大日本(駒沢屋内球技場)	17.30
③3月20日	対大崎電気(東京体育館)	15.00
◇GW・ダンケルセン	ダンケルセン	
①4月2日	対富士クラブ(静岡県富士市)	
②4月4日	対大同製鋼(愛知県体育館)	
③4月8日	対全日本(大阪府中央体育館)	

3月12日来日予定のT H W・キールは長い伝統を誇る名門で全国優勝3回を数える。現在、西ドイツ全国リーグ(ブンデス・リガ)の北部地区に属し今シーズンはグンメルスバッハ(昨春来日)に次いで2位となっている。

予想されるメンバー  
～本誌調べ～

- 【T H W・キール】
- ▽コーチ H・ダーリンガー
  - ▽G K R・ポアツ (23)
  - H・オエルテル (19)
  - ▽F D・バーゲン (23)
  - D・プレラック (29)
  - B・ストラック (31)
  - H・ストモ (24)
  - P・ヴェルグ (27)
  - V・ハール (24)
  - B・ニールセン (28)
  - H・アーレンドセン (23)
  - G・ウエルツ (24)
  - H・シュエツ (20)
  - I・ク (20)
  - D・ク (18)
- 【G W・ダンケルセン】
- ▽コーチ F・スパンヌース
  - ▽G K M・カールハー (24)
  - W・メイヤー (27)
  - ▽F P B・ブツク (19)
  - W・ドレツゲ (23)
  - G・ギルゼ (23)
  - M・ヘルマ (31)
  - K・ハバ (31)
  - H・クラマ (23)
  - B・クロケ (22)
  - H・ブルメ (22)
  - J・ブルク (28)
  - J・ブルク (20)
  - J・レーゼ (23)
  - G・シヨラー (21)
  - H・スルグ (27)
  - O・ヴェ (23)

( )内は年令

# ミュンヘンへ

ミュンヘンをめざすオリンピック候補選手による最初の強化合宿が2月14日から20日まで大阪市中央体育館、大阪府立大学体育館で行われた。

「……日増しに暖かくなる大阪で文字どおり迎えた。春」である。25人の候補選手と5人のコーチングスタッフの顔も希望に満ちている。

アジア予選快勝後、日本協会は新たな決意として「オリンピックでの上位入賞」を打ち出した。参加することに意義、といった時代が遠のきつつあるし、なによりもハンドボール界の意地があった。

「やっとなかなかチャンス。それを参加しただけか、といわれないうちにしたい」(荒川理事長)。「……このムードは練習にもはっきりと反映、実戦的なトレーニングがたっぷり多くの成果をあげたようだ。

コーチ陣の指導は基礎体力のパワーアップと併行して早いプレーの習得を繰り返していた。村田オリンピック対策部長は、「本番」までの一貫した指導理念として「最大の武器であるチーム速攻にみぎをかけることとディ

# 全日本(オリンピック候補) 順調に始動

フェンス力の強化」をあげ、体格的なハンディをもつ全日本の上位入賞への活路をこの点に求めることを明らかにしている。

「……現役学生が11人とふくらみチーム全体に若さがみなぎっているのもいい。

さすがにキメのこまかさでは経験の差がのぞくが、パワー、スピードという点では、25人に甲乙つけ難い。2チーム分の質と量は充分に備えられたとみる。

竹野オリンピック対策委員は「ベテランと若手の差が少しでも詰まればいい」とじっくり見守っているが、トッププレイヤー群の厚味はミュンヘンからモントリオールへと、将来」にもつながる。「……かかえる課題も少なくはない。

アジア予選終了後に襲った「ゆらみ」は一時的な症状で済んだようだが、技術面では長身アタッカーの破壊力不足、チーム全体にやや勝ちみが遅くなっているケースは早いところ「解決」しておかなければならないだろう。あと半年などといっているうちに時日はアツというまに過ぎてしまう。

「……斯界がオリンピックを目前にした強化合宿を行うのはこれが2度目。最初の合宿は34年前にさ

かのぼる昭和13年3月のことだ。昭和15年東京で開かれる予定のオリンピックにはハンドボールも実施が決まっており発足間もない日本協会は関東学生界の有力選手27名(ほかにコーチ3)を候補選手として選出、横浜市日吉の慶大

# 後半に地力を発揮 大阪で強化試合

第一次強化合宿の仕上げとして2月19日午後1時から大阪市中央体育館でオリンピック候補B×大阪選抜、オリンピック候補A×ワ

クナガ薬品(大阪)の2試合が行われた。近森(大崎電気)は左ヒザの負傷、佐々木(中大)は発熱のため欠場。観衆二千二百。

第1試合は若い候補Bが立ちあがり福井らベテランを揃えた大阪のペースにはめられてせりあつたが、後半は中井、斎藤を中心にしてポイント、粘る大阪を押し切った。

第2試合(毎日放送・土曜ワイドスポーツ)は、前半、候補チームがリズムにのり切れず、木野、早川(ともにオリンピック候補)を加えたワクナガ薬品の速攻に苦戦、いちちは4点差をつけられたが前半終了まぎわ大江の好技でや

ランドで5日間の合宿を行ったのである。日華事変のためこの努力も水泡に帰したが、以来描きつづけたオリンピックへの夢が今まさに実ろうとしているのだ。

「……3月にT.H.W.キール、4月にG.W.ダンケルセンと単独クラブながらヨーロッパの強豪がつづいて来日、昨秋のスウェーデン

つと逆転、後半は野田、藤中らの活躍で引きはなした。こういう形の試合で、全日本チームが苦しむことによって少しでも成長することが望ましい。力と

オリンピック候補 14(5-15) 10 大阪選抜

【大阪】 020701000000  
内木塚井達村野田羽田崎  
【大阪】 田青櫻福安中土足市河

GK 田青櫻福安中土足市河  
FP (審・丸岡)

【大阪】 020701000000  
内木塚井達村野田羽田崎  
【大阪】 田青櫻福安中土足市河

戦以来のヨーロッパチーム、全日本が各一試合づつ手合せすることはこの時期、かっこうの腕試しとなるろう。全国関係者の期待を背に、オリンピック候補チーム」は極めて順調にミュンヘンの軌道にのって動きたした感じである。

2回目の合宿は3月9日から14日まで名古屋市の予定。技で、常に大勝するだけの力を備えてほしいものだ。

【今国】 市木早 高戸藤  
【今国】 市木早 高戸藤

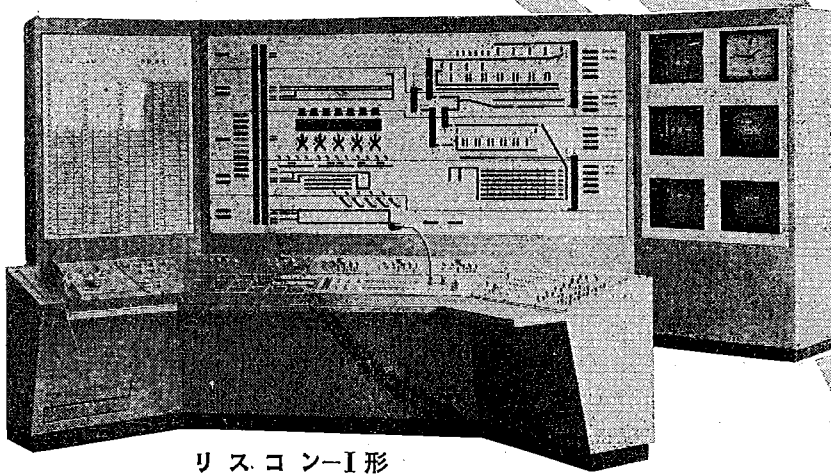
GK 市木早 高戸藤  
FP (審・光島)

【大阪】 020701000000  
内木塚井達村野田羽田崎  
【大阪】 田青櫻福安中土足市河

Osaki

營業品目

普通電力	量計	電流制限器
精密電力	量計	配線用しや断器
誘導形自動電圧調整器	配電盤・分電盤	制御器
静止形自動電圧調整器	試験用変圧器	
配電線事故捜査器	各種開閉器・しや断器	
需要電力遠隔測定装置	数字式テレメーター・データロガー	
電力需用計	器用変成器	
	標準用計器用変成器	



リスコン-I形



大崎電氣工業株式會社

本社及び 141 東京都品川区東五反田2の2の7 電話 (03)443-7171(大代表)  
 五反田工場 電信略号 シナガワ」デンキ  
 蒲田工場 144 東京都大田区多摩川2の8の1 電話 (03)759-6511(代表)  
 埼玉工場 354 埼玉県入間郡三芳町藤久保58 電話 (0492) 58-1205(代表)



# 女子世界選手権 遠征レポート (1)

## ヨーロッパに遠征して

山田 計

八年振りの世界女子ハンドボール選手権大会に出場と決定、吾々選手団は先づ外国チームの情報を手に入れる為協会役員の方と並に海外にいる知人に御協力をお願いし強化練習に入り重点はやはり走力とチームワークの点におき約六十日行方。ハンドボール関係者の大きな期待と上位入賞の意慾に燃えていたが、結果的には残念ながら9位に終り皆様の御期待に添う事が出来ず申し訳なく思っております。唯今回は選手権大会前にデンマークを初めルーマニア、西独等六ヶ国を廻り親善試合を行い、研究と外国人に対する防禦を身につける事であった。十五戦十二勝一分三敗で、日本チームの実力は各国のハンドボール関係者に非常に良い印象を与えると共に、国際連盟の役員に高く評価された事は喜ばしい限りである。

今回の大会は特に目立った事項を二、三挙げてみると、やはり7mにより勝敗が決する事が多く見られた。日本チームの場合7mを少なくする為には危険地域に入る前に止め、フリスローで済す方法を取るべきである。各チーム共、シュートに於て非常に正確、確実性が高い。攻撃に対しては徹底して相手のポイントゲッターをマンツウマンを使い、シュートを最少限に止めていた事である。精神面に於ては自分のもてるものを全部出していた。日本も地理的に悪条件であるが、出来る限り機会をつかまえて国際試合をより多く、経験する事が将来優勝上位入賞と言う事に成ると思う。今度の世界選手権大会出場にあたり、協会並に各方面よりの物心両面の御協力を戴き、深く感謝すると共に欧州で見聞し、体験した良い点を日本の

ハンドボール界に幾分でも御役に立てば幸甚と思つて居ります。

## 世界の女子の技術

宇津野 年 一

(全日本監督)

第4回世界女子ハンドボール選手権大会並びに前哨戦としての15戦(ルーマニア、アナショナルとの練習試合を含む)、オランダ・パーベンダルト国立スポーツセンターで行なつた対ユーゴとの練習試合などから、現在の世界女子ハンドボールの技術を見たまふ、感じたままを解剖してみたいと思う。

技術というものは人間によってつくり、刻一刻と改良され進歩向上が計られてゆくものである。得点を挙げるための攻撃プレー、得点を阻もうとする防御プレー、これらのプレーの優劣が他の要素も加わつてゲームの勝敗を左右することに成る。

私はゲームの場における技術というものを基礎技術、応用技術などに加えて、勝れた体格と機能、逞しい精神力などが総合されたものであると思つている。

技術を解剖する前に、世界女子選手の体格について少々触れてみると、形態的体力は日本選手に比べ、遙かに勝れており、日本選手の最高身長188cmは、外人選手の中では中程度といつたところであり日本選手の平均身長180・77cmは出場9ヶ国の最低のように観察される(資料がなく見聞結果からの推測である)。この体格の差はそのままハンドリング、キャパシティの差となつて現われ、ボールテクニクの幅の相違となつていふことは想像していただけるものと思ふ。私はこの体格的な差を十分に認識し、これをカバーする方法が考えられなければならないと思ふが、ゲームにおける外人選手の気力の逞しさが、彼女達の持つ技術をより以上に効果的に發揮させている点は、私達が学ばなければならない点であると思ふ。

以下目についた点について述べてみよう。


1、基礎技術で注目される点

(1) フットワークについて


攻撃的フットワークで注目される点は、ゴール前でポストマンの動き、ボールに対する動き、セフトオフエンスでのステップパス

まっくろけ


### 黒の中の“純黒”男っぽいヤツ



MITSU-BISHI BA-31



## 三菱ボールペン 純黒 BA-31 ¥30



三菱鉛筆株式会社

などに見られるフットワークの軽快さと鋭さである。これは動くことを第一として、外国チームの傾向であり、特徴ということができると思う。

防衛的フットワークは、相手チームの攻撃展開を迫る軽快なフットワークが目される点である。すなわちロングシューターに対する踏み込み、ポストマンのマークと受け継ぎが、サイドステップと前後のステップを主体として忠実にプレーされていることである。このフットワークを個人についてみると、踏み込み→斜め後進ステップ→左右のサイドステップで結び継がれている三角のフットワークが基盤となっている。このフットワークがゾーンディフェンスを支えているピストンプレーである。

各国のディフェンスフォーメーションは、5・1防衛と6・0防衛が多く、6人でつくる隊形の後左右の距離間隔は、ボールを追いプレーヤーをマークしながらも崩れないチームフットワークとなっている点は、フットワークの基礎と基本が習得できていることを証明するもので、防衛力強化が指摘されている日本チームが学ぶべきことのひとつであると思う。

(2) パスとキャッチについて

### ☆ 女子欧州レポート

大きな手に加えて「松ヤニ」を使用することによって、ボールテクニクは多彩である。パスで多く使われているものは、シュルダールパスであるが、パスワークに使われるシュルダールパスは完全なオーバーローではなく、手首だけで投げているシュートパスであってシュートと使い分けている。その他ではラテラルパス（横パス）とバックパスが場面にに応じて使われている。ラテラルパスというのは、ボールを上から握って腰の高さで投げる横パスであり、相手（防御プレーヤー）に正体して投げるこのパスは、攻撃的プレーに結びつけることができる。

私は以前からシュルダールパス（オーバーロー）は、ステップシュートに直結させることを考えていたが、外人選手の多くはパス技術とシュート技術を使い分けているように感じた。というのは、攻撃中パスワークに使われているシュートパスは手首だけで投げている場合が多く、ロングシューター（シュートする場合はステップよりジャンプが多い）が使うパスは、ボールを握って下から大きなバックスイングを活かしたシュートモーションパスである。このステップパスは3歩を最大限に活かし、シュートとパスの併用を狙っ

たプレーであり、ボールを握る外人特有の技術である。

キャッチについては、パスのスピードコントロールによってミスは殆んどなく、間々片手キャッチも巧みに行なわれていた。握ることがすべてであり「松ヤニ」などの使用によってキャッチングは完全な状態といえるようである。

#### (3) フェイントについて

フェイントの多くはシュートモーションフェイントであり、日本選手の使っているフットフェイントは、比較的小さいプレーヤーによって使われていた。ボールを自由に握れることが外人選手特有なシュートモーションフェイントとなっており、ボールを肩で止めながらプレーをする日本選手との相違がこのプレーである。

#### (4) シュートについて

ステップシュートはミドルシュートとして聞か見られる程度であり、セットパスから防衛の間隙を衝いてクイックモーションでシュートされている。このクイックシュートとは、セットでのパスワークからシュート体勢でボールを待ち、キャッチング即シュートというプレーである。ステップによるロングシュートは少なく、3歩の限界ステップがフェイントに切り替えられている。ステップによる

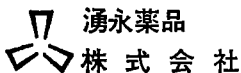
ロングシュートは寧ろ日本選手の方が多いように思う。

ジャンプシュートの特徴は滞空の長いことである。この特徴はボールを握るテクニクから導びかれているように思う。ボールを握り大きなバックスイングで振り回すようなモーションでシュートしている。

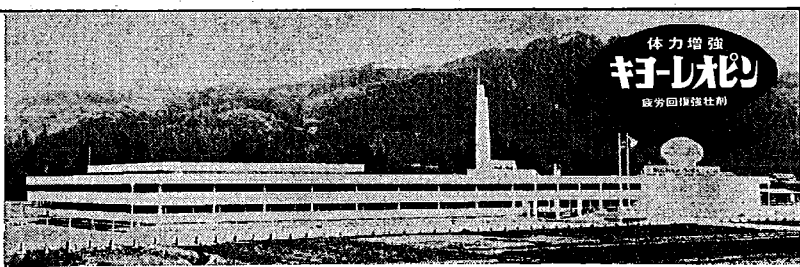
ポストから行なわれる倒れ込みと飛び込みシュートは、回転しないで着地する方法と、身体を前に伸ばして腕立伏臥から胸、腹などの支持によって着地する方法が見られ、日本選手が行なっている回転法もわずかに見られた。倒れ込みシュートは低い姿勢から前に伸びる方法で、相手の反則を誘い7mを得ようとするプレーでもあ

る。各種シュートはその場に応じて使われており、決して無駄打ちをせず、シュートは必ず得点に結びつけるという執念が感じとれる。したがって、無理な体勢では絶対的にシュートをしてはいない。無理な体勢でシュートをすればたとえシュート時に反則的プレーがあっても、シューターがシュートすることを利としたと判定されるようである。このような判定基準が攻撃を慎重且執拗にさせており、シュー

近代化を誇る  
湧永薬品広島工場



湧永薬品  
株式会社



体力増強  
**キョーリク**  
疲労回復強壮剤

本社/大阪市福島区上福島南3-142 TEL. 06-458-8901-5  
東京支店/東京都港区三田2-7-16 TEL. 03-451-6996-7891

支店/横浜・名古屋・大阪・広島・福岡・札幌  
工場/広島・和歌山

トに全力を傾注するという執念を植えていくのではないかと考える。この点の判定基準は日本の場合と全く違っており重要な問題であると思う。

2、チームプレーについて

速攻(ファーストブレイク)では、ゴールキーパーから、ルーズボールの処理から、その他のケースからの速攻は直線的であり、日本のくの字形速攻は全く見られない。したがって、中継を使った速攻は皆無といってよい。相手の不完全な防衛隊形を突破する半速攻的なプレーは非常に少ない。この点は日本チームの特徴であり貴重な戦術であるといえよう。

速攻(セットオフエンス)ではセットに組んでからの攻撃はパスアンドダッシュの基本プレーが忠実に実行されており、攻撃の傾向は先頭来日したグンメルスバツハヤスウェーデン男子チームに見られたゴール前を走り続ける攻撃によく似ている。またディフェンスの間隙を突破する突進力は果敢であり、このプレーが7mを誘うプレーとなっており、その他目についた点を挙げて、

① ポストプレーはどのチームでも主要な戦術であり、ロングシューターがポストを活かす縦のコンビがよい。

② セットを組んでからの攻撃は流動的でゴール前をよく走り、常に足が動いており、セットパスを攻撃的プレーにしている。

③ ブロックプレーはサイド、45度で使われており、ブロッカーの両手は背後で組まれている。

④ どのチームもいくつかのフオーメーションをもってはいるがそれを使って得点することは難しく、作戦的に阻止されていたように思う。結果は個人技を軸としたフリーオフエンスとの噛み合せのように見た。

次に防衛についてみると、戦術としてのマンツーマンディフェンスは見られなかったが、ゾーンを主体として相手のエフェンスをマンツーマンで守る複合ディフェンスは、勝つための手段として使われていた。マンツーマンが行なわれたのは、ゲーム終了前に挽回を策したときだけであり、日本でもよくとられる戦術である。

ゾーンディフェンスでは、フットワークのところを述べたように隊形は5・1防衛と6・0防衛のチームが多く、プレーヤーは各責任ゾーンをサイドステップを主体としてマークしており、この動きが一試合を通して続いている点に注目すべきであると思う。防衛の特徴は攻撃の芽を早目に摘みとる

というプレーが積極的であるという点である。

3、ゴールキーパーについて

ゴールキーパーはどのチームでも豊富な経験者であることが目につく。この豊富な経験がゲームのペースメーカーになっていることも見逃せない点である。しかし、ゴールキーパーの任務の一つであるボールの処理には素速さは見られず、速攻、半速攻で機先を制する日本の戦術は少ない。ゴールキーパーからの速攻は、速攻で攻めきれると判断されたときに限られていくように見た。

守備法で目についた点は、高いコーナースhootに対して果敢なダイビングプレーが行なわれていることである。

構えは正面では両手が下がっているが、サイドでは上に挙げられている。

日本は必ず優勝できる

最初に此の度の世界選手権出場に際し、御声援、御激励、賜りました皆様、又数回の強化合宿を通じて、種々御世話になりました。各地の皆様、に、精一杯やりました

が、日本選手の技術が世界で通用するか否かが問題となるが、今回の体験から日本選手のトップレベルの技術は、長身の外人選手に対して十分に通用するという自信を持つことができたと思う。

しかし、日本選手が外人選手に對抗し、好成績を得るには次のような点が強化されなければならぬと思う。

- ① 個人技とスピードの養成
  - ② 速攻体系の確立
  - ③ ポストプレーの攻めと守りの習得
  - ④ 防衛のフットワークの完成
  - ⑤ 身体機能の向上
- などが重要なポイントではないかと思う。その上に選手一人一人が自分のためにハンドボールをやるという心構えと、進んで自分を鍛える努力をすることが大切なことではないかと思う。

(全日本コーチ)

井 薫

が、御期待に添い得なかった事がこの紙面をお借りして、お詫び致します。そして今回の敗因をつぶさに検討して見まして、次の様な事から、近い将来、『日本は必ず

純競技仕様

=すぐれた機能は美しい=

デサント製品はすべて本格派の名にはじない<純競技仕様>……その孤高の世界へ肉迫した成果をご着用下さい。

THE BEST  
for typical sportsmen

original by



スポーツ服装専門メーカー  
株式会社 デサント

《本格派》  
**デサント**  
スポーツ服装

- ハンドボール ●ベースボール
- ゴルフ ●スイミング ●スキー

優勝出来る』と申せると思いますが。技術的な事を述べる前に『ナショナル・チーム』とは何なのかと云うものに就て、ふれてみたいと思います。現在の日本の、殆んど種目で、全日本、即『ナショナルチーム』と、表現してはいますがその内容は、学生、先生、会社員、自衛隊、等の各々の職場や、所属する学校の協力のもとに、練習を積み重ねた、アマチュア・スポーツの選手団(単独、選抜)である訳ですが、欧州、特に共産圏の各国を、目にした場合の、ナショナル、とは読んでの字の如く真に国家養成選手であり、つまりその競技に於ける、成績が、そのまま、自国に於ける、生徒の安定につながる性質のもので、一勝一点、一つの演技、そう云った勝負のポイントが、生活につながる場合を、日本のそれと、御比較頂ければ、その相違点、御理解頂けると思えますし、私達の想像以上にスポーツ・マンの社会的地位が高い欧州各国の環境から育つたナショナル・プレイヤー、及ナショナル・チーム、の素質、頑張り、大会の随所に見かけられました。更に一年でも永く、ナショナル・メンバーである事が、最上のものでありますから、日本の場合の様に、後進に道を譲る、と云つ


た様な、きれいな事で、自分から身を引く事考えられず、如何にすれば、若い人と対等に力を発揮出来るのかと、自分なりに、研究、年令に応じた練習法で、自己を鍛える、ベテランの姿は実に、立派な事と思えました。日本の場合、現在では未だ、家庭とスポーツ(仕事)の両立は難しい、環境ですから、二十四、五を、ピークにその競技から、離れざるを得ない事情も、経験豊かな、プレイヤーの育ちにくい、理由にあげられますが、せめて二回、或いは三回は、世界選手権を経験してると云った良い意味のベテラン、数名に将来性豊かな新人数名、そして最も動ける、中堅で、ナショナル・チームを編成出来たらと思えます。更に日本の選手生活が短い事の一因に、練習法にも問題がある様に思えます。つまり、現在の実業団チームを、例にとりましても、毎日三〜五時間、殆んど年中、練習に明け暮れている訳で、割りと早く体力、気分の限界に、達しているのではないかと思われまます。勿論、入念に計画された、選手育成であれば、完全な、食生活と休養で、それらの限界を、僅かに伸ばす事は考えられますが、この点、外国の選手は、シーズン・オフは他の球技や、陸上、水泳、等を通

じ体力養成と巧緻性を初めとする機能開発を計り、シーズン・インの時期には、新鮮な気持ちで、ハンド・ボールと取り組む訳で、その効果も高く、内容も重点的に行う為、短時間で目的を達して行く、と云った、スタイルが、比較的、息の永いプレイヤーを育てていると思えます。日本のオールシーズンの、大会開催時期にも、問題はありますが、せめて練習内容は、もう一度真剣に、検討されて、合理性を求める事は出来ると思いますが、そう云った積み重ねは、日本の女子のレベルアップに役立つものに思えます。この様に同じ、ナショナル・チームとは申せ、日本と、外国のものでは、これだけの相違点があります。そう云った性格の相手と、対戦して技術的敗因の最たるものを、余りにも多くの7mスローを取られ、その殆んどが失点に結びついた事です。強引なポスト・プレイや、

サイド・シュートに対して、防御が甘かった事は、事実ですが、大会前の十四戦の、国際ゲームを通じて、その対策は工夫しましたし、ルーマニアに於ては、監督のガブリエル氏からもその方法を教わりましたが、永年身についてた防御法は、そう短期間には、スイッチできず、体格差を利用されての、ポストプレイに、振り廻された恰好でした。然しこの事も、日本人の体格にあった方法で、重点的に練習をすれば、解決出来る問題だと思えますし、対日本の場合が、体格差を考えてのポストの狙いばかりかと思えますと、そうではなくどの国のゲームも、何とかポストで、或いはサイドで、7mを、と云った戦法ばかりが、やけに目につきまして、そう云った意味では、余りにも単純な戦法に驚きました。優勝をしました東独にも、二つ、三つの組織的攻撃が見られましたが、これも実に単純なもので、一度はやられても、次にはもう完全に読みとれる、と云った程度のものであり日本の身上である素早い動きと、多彩な攻撃は、むしろ外国勢に、強い印象を与え、世界の戦術の流れが、こう云った力にたよる傾向であれば、日本のチームが今後体格差をなんとか理めて、パワー・アップして行く事で、その差は一気にとは申せなくとも、ちぢまる事は十分考えられます。次にこれらの7mの判定を始め、ゲームに於てやはり日本の判定と、世界の判定との差は大きく、とまどった事が幾度もありました。ここでご不思議に思われますのは、これ迄、男女合わせて十回位いの欧州遠征にもかかわらず



★ 強力ナイロン糸巻構造  
**MIKASA® HAND BALL**  
 完全球形に対する強靱さ、バウンドの正確さ、そしてダイナミックな弾性と抜群の耐久性、このミカサの“完璧なボール”が生産量、輸出量ともに日本一、また世界屈指のビッグメーカーにしました。

日本ハンドボール協会検定球  
 **明星ゴム工業株式会社**  
 広島・東京・大阪・福岡・名古屋・札幌

ず、この判定差が今もって、是正されていないと云う事です。待望のオリンピックも目前に迫っている現在、この事だけは、幸い先日來日したカールソン、オルソン、の国際審判員、更に、エミール、ホルン氏の來日の成果と共に、総ての審判部門、及技術部門の、これ迄の経験をもとに、何の不安もない状態で、ミュンヘンに送り出す事が、急務であるうし、この快挙を機に、これ迄の遠征チームが味わった、苦い経験も、姿を消すのではないかと思われまじし、これが実現するであろう暁には、日本チームの実力も又アップするものと思われまじし。次に日本に於ける女子チームの数が少ない事が、頂点のナショナルを編成してみましても、層のうすい事に、つながると思はれます。若い中学生、高校生の皆様も、大学や実業団に、大いに進歩して、私達では果し得なかつた夢の実現に努力される事を期待します。そう云った人が、一人でも増え、チームが一つでも増える事が、榮光につながるものと信じますし、常時三十名くらいはのナショナル候補から、遠征人員に応じて、選ぶと云った方法でないと、前述の国家代表の選手権との争いには、余りにも微力すぎると思えます。更にこれは経済的問

題を無視しては語れませんが、理想とする遠征メンバーの構成は、プレイヤーは、せめて十六名、十八名、役員も、団長、監督、コーチの外に、是非、必要と思はれまじしものに、チーム・ドクター、マネジャー(総ての経理面と、8mmか16mmを、自由に操作出来る立場の人)。さらに国際審判員のワンプア。以上、遠い欧州迄の経費を考えますと、実に多難な事とは思いますが、これだけの、スタッフと選手が理想ですし、敢て優勝と云う事を前提に述べてみました。そうして最後に、最も大切な事としまして、ナショナル(全日本)は、何か事ある度に、編成されるべき、性格のものでは決してなく、そのメンバー、スタッフに、変動はあれ、目的達成の為に、充分、検討されたレールを、毎年走りつづけるものでないと、その効果は望めないと云う事です。そして多くの先輩方の意見を参考に、更に新しい外国の、動きを敏感に、キャッチし乍ら、トレーニン

グを積み重ねる姿こそ、真の日本流に於ての、ナショナルと呼べると思えます。昨年の十二月、オランダに於て、優勝しました東独を初め、もう三年後の世界選手権への準備は、世界のあちこちで、始まっていると云っても、過言ではないと思えます。長々と述べてきましたが、あらゆる改善を、技術の日々の進歩と、並行に計って進みますと、ごく近い将来、「日本は必ず優勝出来る」と云う結論に達すると確信致します。尚 私達選手団が遠征を通して得ましたものは、出来得る限り、多くの皆様に御伝え致す事が、使命でもあると心得えます。最後にミュンヘンの成功を祈ると共に、今後とも女子ハンドボールも、宣敷く、御育て下さる様、御願ひ致します。

(全日本コーチ)

### 世界選手権の印象

枝尾 清女

実に長かった遠征を終り、今ふりかえって見ると『終ったのだ!』と、いう安堵感と『なにか物足りない!』と、いったような気持ちが入り組んでいる。世界選手権を通して、勝利への執念と体力の発揮、スピードを生かしたプレー、防禦技術等々、色んな国のプレーに接し、大いに参考になり学べたと思つて。各国での親善試合を終え、最大の目的地オランダに、十二月一日に着き、パーベンダルスポーツホールで、二日から十日迄日本で合宿した時と同じスケジュールで、本大会に備えての体力の強化、防禦、フリーフォームイションでの早い動き、といった練習をする。

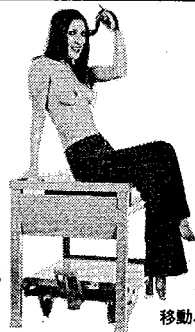
十二月十一日、第一戦対西ドイツ、相手は、スローオフと同時にマンツーマンの防禦をしてくる。自分達のペースがくずれ、前半は五対四で相手のリードで終了、後半に追い込みはするが、ディフェンスの甘さから幾度も相手のポストプレイヤーに点を許し、各自の持味を發揮でもないままにゲームを終つてしまふ。

十二月十二日、第二戦対デンマーク、このゲームも西ドイツと同じ作戦でマンツーマンをしてくる。五〇分間一度もリードで進まずに、試合終了! ついに決勝リーグ進出ならず! 順位決定を残して十五日、十八日の後半戦だ。

十二月十五日、順位決定対ノルウェー戦、相手の二番にマンツーマンの防禦をする。立ち上り先攻ゲームのペースをにぎるかに見えたが、マンツーマンしている相手に点を許してしまふ。後半は、日本の方に退場者があつたにもかかわらず失点をくいじめ、やっと引き分けになり、少しは落着いたが勝負の世界の厳しさを今さらながら痛感するものである。

十二月十八日、順位決定対オランダ戦、実力を發揮できないまま

昭和38年チーム結成  
全日本実業団大会 8回  
連続出場



移動バイス台

## 荷役運搬機器の総合メーカー

手押車からコンベヤー・リフトまで

●ご計画のときは本社営業部までご一報ください。

## タヨシ産業株式会社

本社・工場 名古屋市中区豊年町3-37 TEL052(741)4121  
東京営業所 東京都世田谷区祖師谷4-14 TEL03(482)3589

に、勝たねばならないゲームをおとしてしまった。

背の低い私達が、外人と対抗する為には、素早いフットワークで常に動いていなければならぬことを痛感した。

又、私達と違うことは、ボールをパスしてからの走りはすこく、スピードがありその走りは、フェイントをかけて走るので、守りづらいものだった。

この遠征で、覚えたこと、身につけたことを、日本ハンドボール界の発展の為に、役立てたいと思っている。

### 防禦面に反省残す

古佐原ひろ子

選手権前、一ヶ月以上のヨーロッパ遠征をし、今まで外国選手に対し、コンプレクスを感じてしましたが、数回の練習マッチをして全然コンプレクスを感じなくなりハードスケジュールの中で、十二勝二敗と好成績、世界選手権でも六位には、確実に入ると思いましたが、一勝も、勝つことが出来ず世界選手権の厳しさが、身をもって感じられました。日本は、技術的には、世界の見本とはなっても、劣ることはないです。世界選手権出発前から、口癖の様に言わ

☆ 女子欧州レポート

れていた精神面が、もう少し足りなかった様に思いました。上位入賞は皆共産圏。共産圏の、試合に対し勝つための斗志、根性と言ったものには、すさまじい強さを感じられました。又、キャリアの点でも、日本ではとても考えられない位です。片言で、各国の選手達と話しに花を咲かせ聞いて見ると、ママさんプレイヤーで、子供が何人いるなど聞いてびっくりするだけ、ヨーロッパの方は、それがあたりまえの様です。そのベテランプレイヤーに、若手のプレイヤーが上手にかみ合っている。経験豊富な点から、ゲームに対してかけ引きがうまく、スタミナの点でも驚くばかり、日本は、毎日毎日の練習をつみ重ね、始めて成果が表われるのに、話によると、週何回かで、短い時間の練習、試合には、あの豪快なシュートを、たたき込む、速攻も出る、わずかな時間での練習とは思えない位です。又、どの国も、ポストプレイヤーを使う、ボールを保持する時間が長く、わずかなときにポストに入る。ポストプレイヤーは、男子のポストプレイヤーの体勢を作るので、ボールが通つたらかならずと言って良い位、7メートル、日本も、半分以上は、7メートルを取られてしまう。7メートルを取

られるのは、ディフェンスに、大きな鍵がある様に用いました。日本のナショナルの男子が盛んにやっている、フットワーク、向こうでも、たえずサイドステップでのフットワークで、相手をマークしている。オフフェンスよりも動いていました。日本は反対で、オフフェンスには力を入れるが、ディフェンスで力を休ませてしまう傾向がある。それから、ボールを持たない相手に対して、かならず、ホディチェックし、攻撃力からははずす。フォーメイションの時、エリアからきりくずす相手の腕を握り離さないと言った例がありました。未熟だった私が、世界選手権に出場し、世界の人達と話し、又世界のベテラン選手のプレーを見て来て大変勉強になりました。これからも経験をいかし、頑張りたいと思います。

### ヨーロッパの GK の印象

小原 名苗

57日間のヨーロッパ遠征を終えて初めてヨーロッパの GK と接し、私の見た限りでは体格差はフィールドプレイヤー程なかったように思いますが、試合に対する執念や又試合の駆け引きには、そのうまさ

感心させられました。こんな事がありました。東独ユーゴの優勝戦で東独が7mをとられ、東独の若い GK はコースに動いていたけど手にあたってはいってしまいました。その時入れられたコースをじっとみつめ今度はぜったいとるんだという態度を示し、一本の7mに対しては勝たなければという執念とチーム内に於ける GK の立場の厳しさを攻めて考えさせられました。東独の GK と逆にユーゴの GK は30才近いベテランで、国際経験も多く、試合の駆け引きは更にうまく、よくゲームを把握し、勝つてるときに負ける時の状況を考えシュートをとめてからボール出しまでの間に駆け引きをうまくやり、又審判に注意されない程度に動作も考えてやっていると感心しました。GK の動作や処置でずいぶんゲーム展開も違ってくるものだし常にフォワードをリードしているように思いました。ユーゴと三回程度練習試合をやった、私達はゲーム前に一時間アップをしてゲームにのぞむのに、ユーゴの人達は10分間位、各自で動き、ゲームになったら最高の力を発揮していました。GK も一人でいろいろな動きをやった、自分でどれだけアップをしたらゲームをベストで動けるかという事をよく知ってる様に思

## トヨタと共に躍進するセントラル

クラウン. コロナ. ピックアップ. ライトバン製作



# セントラル自動車株式会社

神奈川県相模原市大山町4番12号

TEL 相模原 (0427) 72-6111 (大代表)

加入電信 2872-205 サガミセントラルSGM

いました。これはヨーロッパのすべてのプレーヤーに言える事で、私達も短かいアップでゲームに対しての技術的準備はもろろん、勝利に対してのばげしい気力を出せるようにしたいと思われました。日本のこれまでのアップは、たっぶり時間をかけていきましたが、これも日頃の練習内容からきているもので、もっと重点的なものにきりかえる必要性を感じましたし、日本のトレーニングはコーチの指示で全面的に、従って消化しますが、今後は自分で、積極的なアップが必要なるも痛感しました。しかしボールさばきを初め、GKとしてボールさばき以上に必要と云われる速攻に対してのボール出し等、GKの技術は、日本も劣りません。ヨーロッパのGKの構えは、ほとんど型にはまらず、もとも動きやすく、しかもシューターに対しては、大きく自分をみせるスタイルで、ポジジョンもゴールライン近くまで下がったり、シューターの角度に応じての変化など巧みな事を感じました。けして派手さはないが、確実にボール処理に徹して、ボールを受ける時は、体全体を使って、その処理にあたり、日本の場合のように軽く片腕のみといった事で外人は特有の、重いボールは防げず、GKの

基本であるボールは、正面でという事を再認識しました。速いパス速いシュートに対し、常に良い位置を占められる読み、そして身のこなし、これは日頃の練習の積み重ねから、出来るものであると思われました。しかし、弱点もみられました。ダイレクトシュートに対しては強い反面、ゴール前で、バウンドするシュートには弱いように思いました。日本のシュートが決まったのも、クイックやタイミングをはずしたシュート、バックをかわしたシュートには、比較的もろいと思われました。しかし小さい時からハンドボールと並んでサッカーや他の球技に親しんでいるせいか、瞬間的に足が出ていた。日本のGKの足さばきは、どうしてもきこちなく、動作が非常に悪いのですが、その点ヨーロッパのGKは足の動きがボールに対して早く、確実にボールにあて、殺しているのに感心しました。今度のヨーロッパ遠征で痛感したのは、年令に関係なく各自の練習法で幾つになっても、できる事、特にルーマニアのGKの34才そのプレーは年令を感じさせず、練習も先頭に立ってやってくる事は私達の良い励みになりました。これまでの事を総合しますと、GKだからゴールの中だけの練習に終

始すれば、よいと云った考えを、もっとFPに近い動きをしたり、これまで以上に、瞬発力養成の必要性も感じました。又ほとんど、FPがボールを握ってフェイントやシュートを来ますので、早く動きすぎない様思いきり呼び込んでボールに向う事、「この際以前の11人制のGKが行っていたと云はれる、全身を使って飛び込む防禦法」もこれまでの方法と一諸に練習して、いくべきだと思えました。

### 初めて本場の技術に接して

三宅美智子

長い手足、均整のとれた体格：試合に臨む以前に外人チームを見て一沫の不安が胸をよぎる。しかし「ピーツ」というスロー・オフの笛の音と同時にそんな不安は消えてしまし、何が何でもやらなければならぬ」という使命感だけを背おってルールのある戦いにとむ。

十一月三日のデンマーク戦を皮切りに十二月十八日のオランダ戦が終る迄、二十試合余りを通してこれといって目に新しいプレイは見られなかったけれども、共産国の人達は特に個性がはつきりして

いる感じがした。フリースローラインの上附近からの男子並のジャンプシュート：キック力、バネの素晴らしさに驚くばかりだった。ボールを完全に握って置いてバックを前にジャンプする訳だけれどもその感じだものだからバックがタイミングを合わせてジャンプし、ボールカットをしように思っても滞空時間が長いので結局バックがおりた時にその頭の上から強烈なシュートを打ちこまれるということがあった。それに、ユーゴの選手の中にサイド(左)シューターで、ボールを完全に握りそのボールを自分の頭の後に一度かくし、ライン内にとびこんでから打ち分けるプレイヤーがいたけれども十八才という若さでその特技を自分ものにしナショナルプレイヤーとしてのプライドをもち、持ち味を生かしていることに層の厚さを痛感させられた。そのプレイヤーは、得点しない時は、7mというケースになりうる動きをやっているでサイドのディフェンスの者が完全にマークしていなければならず、しぜん全体が広くなるディフェンスにさせられていた。武者修業前半の頃は、ポストの守りがどうしてもあまく7mをすごくくられた。体格がひとまわりは違う相

関東一円をネットする...ワイドサービスセンター



医薬品全般  
高級化粧品

健康から未来をひらく

株式会社 日進商会

☆ 女子欧州レポート

手だしその体重にふりさられ強引にずらされ、しかも間を割られて結果的には後からおっかけ腕をひっかけるといふことになり7mはまぬがれなかった。一試合の失点の半数以上が7mということが多くなり7mをくいといれば失点が少ないというのでまずはポストブレイヤーと一緒にラインの中へ倒れこむことを指示された。ルーマニアのコーチからはフルバックの人がポストブレイヤーを自分の背後におきその位置を常に知りながら万が一ボールが通された時はライン内へ押し込むよう指示されポストの動きを封じるべく練習を重ねたものの、あらためて体格差からくるハンディを感じさせられた。しかし、審判の判定基準の相違に悩まされながらも試合をつむにつれて7mの数が少なくなってきたことは、単に本場のプレイに馴れたというだけでなく少しなりともデフェンス技術が上向きになったことがいえるのではないだろうか。公式戦においては、攻防における駆け引きのうまさにも驚くことが多かった。ハンドボールを知っていると一言でいってしまえばそれで終りだけれど、審判へのアピール、時間経過による巧みな7mにするべきねじこみ方……勝つこと

に徹してプレイする国家意識の強烈さ等々。そして又、それに輪をかけてようなキーパーのボールさばきのうまさも知り長い間の選手生活において自らつくり上げていったのであるうことを感じさせられた。攻めにおいては、各人が完全にボールを握れることもあり、ボールテクニクがすぐろうまくそれを利用して大きいモーションからのフェイントプレイが随所に見られた。男子並のジャンプを放つ人が三人程見られ、それぞれ個性にあふれたプレイを自信もってやっていた。各人で常に足を動かしていることも大きな特徴といえるようだ。一つ一つのパスにスピードがある訳ではないけれども、個々の足が動いておりパス、ドリブル、シュートの基本プレイが連続して行なわれる。防禦も同じことだけれど、実にサイドステップをつかい手でボールのコースをおっている。しかし、日本特有のモーションの早いアンダーやステップシュートが、何本も決っているから手放して、賞讃するほどのことはないようだ。これからの私達は、筋力の向上に努めフットワーク等の基本プレイの連続動作を続行させるべき体力の向上につとめなければ、ならないように思った。

全日本女子遠征成績

▼世界選手権

▽予選A組

日	本 7	(3   4   5)	10	西	独
日	本 7	(3   4   4)	11	デンマ	ク

▽7位決定リーグ

日	本 12	(6   6   5)	12	ノール	ウ
日	本 11	(2   9   7)	13	オランダ	

1分3敗の成績で9位

▼親善試合

日	本 14	(9   5   6)	12	デンマ	ク
日	本 19	(7   12   3)	7	10	デンマ
日	本 15	(8   7   4)	11	ポーレン	グ
日	本 20	(10   10   8)	3	11	ストック
日	本 14	(7   7   7)	11	ホルム	ス
日	本 12	(5   7   9)	9	18	デン
日	本 13	(6   7   7)	6	13	デン

アクイタ  
ランス(フ  
ランス)  
フランス  
フランス  
フランス  
フランス  
フランス

本 26 (12 | 14 | 5) 3 8

本 30 (14 | 16 | 0) 3 3

本 15 (8 | 7 | 4) 9 13

本 13 (6 | 7 | 4) 3 7

本 9 (6 | 3 | 4) 3 7

本 18 (11 | 7 | 5) 8 13

本 16 (10 | 6 | 0) 7 7

本 18 (10 | 8 | 8) 2 10

15戦12勝2敗1分

ジュニアナショナル編成へ

技術指導部(部長・勝常務理事)

は1月22日全国委員会を開き主として47年度事業について協議したが、懸案の「ジュニアナショナル」の編成を具体化、今夏8月の第23回全日本高校選手権終了後、高校優秀選手に選出された男女各20名を対象に強化合宿を行えるよう高体連関係者と打合せることに決めた。

日本ハンドボール協会公認球

一番広く使われて居る!  
セブツク



サービス部  
新宿区新宿2丁目電体前  
TEL (341) 2979・1016

望月運動用品KK

東京都墨田区横川橋4丁目6  
TEL 本所 (622) 0746



# スポーツ審判ハンドブック

編集 日本体育大学教授 佐々木吉蔵 東海大学教授 西山常夫 日本大学助教授 永嶋正俊 東京大学助教授 豊田 博

## ●スポーツの審判技術とルールを網羅した

試合を裁く審判は十分な審判技術を身につけ、公平・厳密・的確に試合を進行させなければならない。本書は24種目のスポーツのルールと審判の技術を事典形式で解説し、ゲームの進行に沿って具体的にジャッジできるよう、初歩から第一線級の審判技術を網羅した。校内競技大会の審判にも十分役に立ち、体育・スポーツ関係者のみならず、プレーヤーにも必携のハンドブックである。

菊判・八二四頁・上製函入 ¥2800

### 構成・内容

【総論】審判に関する基本的事項・及各種目に共通する一般的事項

【各論】各スポーツ種目の審判法を競技に即して具体的に記述

I 序論 スポーツ種目の特性から生ずる審判に関する基本的事項 ①種目特有の審判概論 ②審判の構成と任務 ③審判のゼスチュア ④審判の服装 ⑤競技時間など

II 試合前の審判員の任務 試合前に、審判が心がけ、準備すべきものを具体的な形で記述。

III 試合の進行 各競技種目の審判法を競技の特性をおいながら、プレーとルールを関連させて解説

IV 試合終了後の審判の任務 試合終了後に審判がしなければならない事からを記述。

V 付録 ①審判員制度の紹介 ②重要な審判技術および知識の理解に役立つよう設問を付し解答を与える。

### 目 録

バレーボール／バスケットボール／ハンドボール／サッカー／ラグビー／野球／ソフトボール／テニス／卓球／バドミントン／アイスホッケー／陸上競技／水泳（競泳・飛込）／水球／体操／スキー／スケート／柔道／剣道／すもう／レスリング／ボクシング／弓道／なぎなた

東京・神田錦町3-24

大修館書店

振替／東京40504

〈内容見本呈〉

'71



洋装服飾専門商社(株)三景・東京都千代田区岩本町3-2-10 〒101

# 東海、関西に雪じよく

## 2地域学連対抗戦

第2回関西-東海学連2地域選抜対抗戦は1月14日大阪市中央体育館で行われ、攻守にまともをみせた東海学連が後半一気に加點昨年の雪じよくを遂げた。

東海学生 18 (7-15) 11 関西学生  
選抜 得00302220200011  
選抜 得00302220200011  
選抜 得00302220200011  
選抜 得00302220200011  
選抜 得00302220200011  
選抜 得00302220200011  
選抜 得00302220200011  
選抜 得00302220200011  
選抜 得00302220200011  
選抜 得00302220200011

選抜 得00302220200011  
選抜 得00302220200011  
選抜 得00302220200011  
選抜 得00302220200011  
選抜 得00302220200011  
選抜 得00302220200011  
選抜 得00302220200011  
選抜 得00302220200011  
選抜 得00302220200011  
選抜 得00302220200011

選抜 得00302220200011  
選抜 得00302220200011  
選抜 得00302220200011  
選抜 得00302220200011  
選抜 得00302220200011  
選抜 得00302220200011  
選抜 得00302220200011  
選抜 得00302220200011  
選抜 得00302220200011  
選抜 得00302220200011

ミュンヘン・オリンピック出場というすばらしいできごとがあった一方、日本ハンドボール界の主流たる学生界の低調は、極言すれば昨シーズンの明と暗ともみれるだろう。

機関誌「ハンドボール」12月号のインカレ総評を読みながら学生界で現役プレイヤーと活動する一人として誠に恥ずかしい思いを強く感じこの筆をとることになりました。

私の属する立命館大学は関西学連発足当時から加盟校、常勝関西にこそ遅れはとっていたが、いわゆる伝統校の一角として日本の学生界でも屈指の古豪である。特にスケールの大きな攻守、若さにあふれた「立命フアイト」を定評にして活躍して来たが、昭和31年のセレクション(優秀高校選手の選考推せん)システムの廃止後、一時的には好成績をおさめるシーンもあつたが目にみえて力が落

## 学生界の「復興」を信ず

飯 田 保 夫

ど夢物語で、試合への7人を確保するのが精一杯。  
日本ハンドボール協会も、底辺

拡大の方にいよいよ本腰をいれられると聞いたが、これによって、小・中学生、高校生たちに真の大学体育会のあり方をも大いに紹介し、同好会という、ともすれば単なる遊びに終ってしまう流れを、

東京においても、伝統校の早大慶応・明大などは、振わないと聞いている。

正月の大学ラグビー戦での、あの秩父宮ラグビー場を満員にさせたものは、やはり早大や明大など伝統校の活躍が大きなウェイトを占めていると思う。  
ミュンヘンへの出場、底辺拡大

これによってかつて本学対明大定期戦など東西交流戦に多くの観衆を集めた大学ハンドボールの人氣復活―あと5年すれば現実の姿となることを私は確信している。

転落した古豪校の悲哀を私の学生時代の思い出として、全く失意のうちに学窓を去らんとする私にとつて、願ひは、ただ関西球界でのダークホース的存在の復活それのみである。

3部に転落した時、頭が青くなるほどのツルツルの坊主頭になり、くやし涙に一日中、眠れなかったあの時の自分の姿が、本当の楽しい思い出として後輩に語れる時が、一日でも早く訪れることが、私の現在の心境です。  
伝統ある学生界の「復興」を信じてとともにミュンヘンでの日本の大活躍を願ひ全日本チーム関係者諸先輩、協会、諸先輩の御健勝を心から御祈り申し上げます。  
(投稿・立命館大4年)

来年度から「ハンドボール」を

個人講読でお読みになりませんか

お申込しこみはつづりこみの振替用紙を使い、郵便局からおふりこみ下さい。

(年間1800円です)

合織糸・合織混紡糸



# 田村紡績株式会社

社長 田 村 正 衛

四日市市東茂福町10-17

TEL 四日市 6-2156 (代表)

郵便番号 512

# ハンドボール

## 指導テキスト草案 (1)

### 日本協会普及部編

#### ハンドボール競技の概念

近年ハンドボール競技は教育的価値及び特性等から重要視されつつある。

この競技についてはヨーロッパ大陸で多くの競技人口を持っているものと、アメリカ大陸で行なわれているものと2種類あり両者はその競技の形態及び内容などまったく質を異にするものである。

ここにその概念としてとりあげるハンドボールはヨーロッパを中心としたものを指し、ドイツ、チェコ、ルーマニアをはじめ多くの国々で行なわれているものである。彼の地ではサッカー、陸上競技、体操等に優るとも劣らない人口を持ちスポーツの地位を保持している競技である。また、ヨーロッパで行なわれているこの競技は11人制のもの7人制のものがあつて日本でも11人制を中心として来たのであるが、現在は7人制一本にしほっている、日本

でハンドボールと云えば7人制ハンドボールを指すことになる。

7人制ハンドボールは縦40m、横20mのコートで1名のゴールキーパー(GK)と6名のフィールドプレイヤー(FP)からなり、ボールの大きさは大人の手で容易に握れるくらいであるが、重さはボールの大きさに比べてかなり重量がある。

ハンドボールの名の示すとおり総てのプレイヤーは手でボールを操作しなくてはならない(GKだけはボールの進行に対して足を使用することが許される)。そのプレイは3歩以内のボール保持、3秒以内の同一地点上のボール保持が許され、そのルールに従って相手側のゴールに投げ入れることを競うものである。

得点はゴールポスト内(高さ2m、巾3m)を完全に通過したものをすべ1点とし、得点の多いチームを勝ちとする競技である。(イ) ハンドボールは誰にでもで

きる……。

この競技は規則が割合に簡単でゲームを行うのが容易であるため老幼男女、年令を問わず誰でもできる球技の代表的なスポーツといふことができる。何故ならば我々の日常生活に使はれていない走・跳・投の要素がほとんどであり、新しいドリルを必要としないからである。そして適材適所その人に応じたゲーム役目をもって行うことができると競技だからである。

(ロ) スピーディなゲームである。現代の社会はスピードの社会であり我々の生活の新しい傾向としてそれが要求されるようになってきた。

ハンドボールはその要求にマッチした数ある団体球技のうち最もスピードのあるスポーツの部類に属し、ことに7人制ゲームになつてからはなおいっそうその感が深い。

それはボールが割合に重いこと而も片手で握れる程度の小さいボールであり、競技場そのものも手ごころの広さのためチャンス逃さず攻撃しない得点に結びつかない為である。従つて攻める時も又守る時に於てもスピードが必要である為にゲームはいきおいスピーディにならざるを得ないのである(ハ) やつて面白く、見て面白い競技である

スポーツは種目に関係なく、行

ることが第一の目的である。

而し現社会に於ては見て面白いといふことも大切な要素である。見て面白いという条件は種々とありあげられるがハンドボールの面白さは第一にスピーディであること。第二にゴールエリア近くに於ける必死の攻防にスリルがあること。第三にシュートがダイナミックであること、などがあげられるこのゲームを通じての一連の動作は力と技術と人間性の結合であり、その他に走・跳・投の自然動作の組み合わせによる間(ま)の連続動作である。このことが見る者に「面白い」と感じさせるのである。

(ニ) ハンドボールはスピーディなゲームである為、短時間でも体育的効果をあげることができ(一) 走ることが中心になるために運動量が大きく強い運動ではあるが、反面ゲーム中の交代が自由であるから体力に応じてその調節ができる。

(三) 一度に多人数が楽しめる団体ゲームである。即ちゲームは12名(一度に7名でプレイをし、他は交替メンバー)で行うが、学校の授業等では人数制限にこだわる必要もないからその取り扱いが容易である。

(ホ) 基礎体力の養成に適している人間発生とともに外敵より身を

フット・ワークをスピーディにリードする  
特殊彫刻モールド底

ハンドベアー

¥1,500

神戸ベアー株式会社 東京



守り、衣食住の必要を満たすために必要とした走・跳・投は現在になっても生活の要素の一つであることに何等の変はなく、そのためことさらに基礎体力云々が叫ばれているのである。

走ること、投げることをして跳ぶことは以上の観点から欠くことのできないものであるがハンドボールにおいてはゲームを行なうことが基礎体力の養成になっている走……ハンドボールは走ることの連続でことに攻撃には走るスピードが必要である。またゲームは担当長い時間かかるからその攻防とも走る耐久力の養成になっている。

投……片手で握れる程度のボールであるため、当然肩からのパスが多く使われる。従ってゲームはボールを投げることの連続であるといっても過言ではない。

またシュートは得点を可能にするため、当然スピードが要求されるため、当然スピードが要求されない。

跳……ジャンプシュートの巧みが勝敗に強く影響するし、エリアサイドよりジャンプパスをしてポストプレー、スカイプレーと教えあげれば枚挙にいとまがない。従って勝利を得るためには是非でも各種ジャンプをマスターをしなくてはならない。

### ハンドボールの歩み

ハンドボールはいつ頃どこで始められたものか——ハンドボールは一九一五年(大正四年)トリアバル(門球)という名称でドイツで始められている。

サッカー、ラグビーのように広いグラウンドで行なえる女子のスポーツとして誕生したがルールを制定して技術が進歩向上するにつれて男子も行うようになり、一九二〇年(大正九年)アンシエーションフットボール(サッカー)に対してハンドボールと呼ばれるようになった。

ハンドボールは誰によって作られ発展したものか——現在行なわれているハンドボール(7人制)はドイツのカール・シュレンツ氏によって正式なルールが制定されたハンドボール(11人制)が前身となっている。その後の国際的な発展を記すと

- ▽一九二〇年 ルール制定
- ▽一九二一年 第1回全ドイツ選手権大会開く
- ▽一九二八年 国際アマチュアハンドボール連盟(I.A.H.F.)創立
- ▽一九三四年 室内ハンドボールルール承認
- ▽一九三六年 第11回オリンピック大会(ベルリン)に正式種目として採用される
- ▽一九四五年 国際ハンドボール

連盟(I.H.F.)に改組

▽一九五二年 第15回オリンピック大会(ヘルシンキ)に公開種目として行なわれた。

以降他のスポーツに伍して着々発展し、昭和46年10月現在では国際ハンドボール連盟(I.H.F.)加盟国は49ヶ国となっている。

日本国内のハンドボールの発展状況——日本のハンドボールは一九二二年(大正11年)大谷武一氏によって伝えられたのがその始めである。

▽一九二二年 大谷武一氏よりハンドボールを紹介する

▽一九二六年 学校体操教授要目

▽一九三七年 日本陸上競技連盟にハンドボール専門委員会設置

▽一九三七年 第1回関東選手権(東京)開く

▽一九三七年 第9回明治神宮体育大会に陸上競技の一部として行なわれ、これを第1回全日本選手権とした。

▽一九三八年 ドイツ・ヒットラーユース団員との間に日本初の国際試合が行なわれた

このように着々と発表してきたハンドボールも他のスポーツ同様に第2次世界大戦によって中断された。

▽一九四六年 復活東西対抗戦開く(西宮)

▽一九四九年 東京駒沢にハンド

ボール専用グラウンド設置

▽一九五四年 第1回全日本総合室内選手権開く(大阪)

▽一九五六年 西ドイツと戦後初めて国際試合を行ない、以降世界の強豪チームを招待。

▽一九五七年 女子及び中学男女の競技を7人制一本化

▽一九六一年 第4回世界男子7人制選手権大会に初出場

▽一九六二年 国内競技はすべて11人制から7人制に切りかえ。

東京オリンピック(一九六四)大会には正式種目として参加できなかったが、7人制に切り換えられたことにより、よりいっそうハンドボールの特徴を活かすことができ、名実ともに一本立した独自のスポーツ「ハンドボール」となった。

そしてミュンヘン・オリンピック(一九七二)には正式種目となるに及んでその地位はいっそう高められるものと信ずる。

ハンドボールの教育的価値

① 学校体育としてのハンドボール

走・跳・投という身体活動の基本運動がよりよく活用されるハンドボールは精神的発達とあいまって学校体育の目的を達成するための一教材として十分な要素を備え、事実行うにあたってはコートの大

きさによりチーム構成員の増減も

できるし、比較的運動量の多いスポーツでありゲームを楽しむのに高度のスキルを要しないで走跳投の運動能力をより訓練できる等の諸点を総合して体育教材として格好な種目であるといえる。

加えて精神的には団体競技としての協力・融和・責任・忍耐など人間関係から生まれ出る競技精神をつちかうことができる。

また、公教育にハンドボールがとりあげられたという点より考えれば公教育とは義務教育のことであるから、日本国民すべてがその教育を受けるわけである。ハンド

ボール競技は「必修選択」であるとはいうもののハンドボールを学習する機会をもったことには変りない。

その狙いとしての運動技術内容種目のもつ競争や協同についての態度や行動のしかた、公正・責任についての態度や行動などそのつちかわれる内容と共に非常に意義深いものがある。そして上は一般下は小学生まで、まして正課体育として行うハンドボールは高度な技術がなくてもそれなりにゲームを通して十分楽しめるものであり

而も技術的には短期間にゲームに必要とされるものを相当高いレベルまで進歩させることができる。このような点から小・中学校をはじめ学校体育にとって身心両面の向上に欠かせない教材の一つで

あるということがいえる。そして中学校指導要領に組みこまれたことは小学校体育との関連に於いてまた高等学校体育に組みこまれたことは大学の、そして一般の社会体育の面に至る関連性に意を用いなければならぬことを示している。

(2) 発育段階とハンドボール

別掲の6表は昭和43年度日本ハンドボール協会技術資料調査専門委員会が全国各都道府県チームの資料提出に基き作成したもので、内訳は一般男子6、同女子5、大学男子20、同女子4、高校男子20同女子26、中学男子5、同女子4チームである。

また測定項目は次のとおりである(注・測定項目に問題を残してはいるが最初の測定でもありすべてを記載する。)

測定項目(12項目)

- A・形態Ⅱ身長、体重、胸囲  
上腕囲、前腕囲、大腕囲、  
下腕囲
- B・機能Ⅱ筋力(握力、背筋力)、パワー(サージャントジャンプ、遠投、立ち三回とび)、敏捷性(9m往復走、20m疾走、ローリング)、持久性(H・S・T、腕立て伏せ、臥腕屈伸)、柔軟性(体前屈度、上体そらし)

以上の12項目を文部省全国平均と比較すると

A 形態(第1表参照)

全国平均より総体的に優れていることが判る。特に中学男子においては身長10cm以上、体重7.5kg胸囲4.4cmと著しく優れている。

それに比して高校男子では大きな差を見ることができず、むしろ大学男子の方が優っている項目の多いことが判る。一般男子では大学男子より身長、体重、胸囲で僅かではあるが劣っている。発達段階で男女とも中学から高校間で著しい発育発達が示されているが高校から大学ではほとんど発達が見られなくなり、大学から一般では全く発育発達の停滞があらわれている。

また、中学男子で前腕囲が上腕囲より僅かであるが発育発達しているのがみられるのは身体の発育段階を促していることがうかがわれる。

B 機能Ⅰ(第2表参照)

第2表は機能面の筋力と敏捷性についての結果である。

これを全国平均値(文部省体育局昭和43年3月発表の体力運動能力調査報告書資料)と比較してみた。ここでは筋力しか比較できない。但し握力の平均値は全国は左右の値を加え平均したものである。同様の方法で比較検討してみることとする。敏捷性テストは同

第1表 形態

	中 学 男 子				中 学 女 子				高 校 男 子				高 校 女 子			
	ハンドボール		全平	国均	ハンドボール		全平	国均	ハンドボール		全平	国均	ハンドボール		全平	国均
	X	SD			X	SD			X	SD			X	SD		
身体	長 cm	163.0	±8.0	152.9	154.2	±5.1	150.6	168.1	±5.5	166.0	157.1	±4.4	155.1			
	重 kg	50.4	±8.2	42.9	46.9	±6.6	43.2	57.9	±5.3	55.7	53.5	±4.6	50.3			
胸 囲	cm	78.7	±5.8	74.3	76.7	±4.3	74.8	85.9	±3.8	83.9	82.3	±5.9	80.5			
	右	23.3	±2.6	—	22.3	±1.9	—	25.9	±1.3	—	25.0	±3.8	—			
左	23.1	±2.7	—	21.9	±1.7	—	24.9	±1.8	—	24.4	±2.1	—				
前腕 囲	右	23.8	±2.7	—	21.6	±1.2	—	25.6	±2.0	—	23.1	±1.4	—			
	左	23.3	±2.7	—	21.3	±1.2	—	24.9	±1.8	—	22.6	±1.4	—			
大腕 囲	右	47.0	±4.6	—	49.0	±3.9	—	51.1	±2.7	—	52.2	±3.3	—			
	左	46.8	±4.4	—	49.1	±3.6	—	50.9	±3.0	—	52.3	±3.3	—			
下腕 囲	右	34.4	±3.6	—	33.4	±2.6	—	36.1	±1.8	—	35.4	±2.1	—			
	左	34.5	±3.6	—	33.6	±2.6	—	36.3	±2.1	—	37.3	±2.2	—			

	大 学 男 子				大 学 女 子				一 般 男 子				一 般 女 子			
	ハンドボール		全平	国均	ハンドボール		全平	国均	ハンドボール		全平	国均	ハンドボール		全平	国均
	X	SD			X	SD			X	SD			X	SD		
身体	長 cm	171.3	±5.4	168.3	158.2	±4.6	155.7	169.4	±5.4	—	157.9	±5.9	—			
	重 kg	63.0	±5.6	58.2	54.5	±4.8	50.7	62.5	±4.9	—	55.0	±4.6	—			
胸 囲	cm	90.0	±4.3	85.9	82.6	±2.9	80.4	88.8	±3.9	—	83.5	±3.0	—			
	右	26.7	±2.2	—	24.7	±1.7	—	26.7	±1.9	—	25.5	±2.1	—			
左	26.2	±2.2	—	24.1	±1.5	—	26.3	±1.8	—	24.6	±2.2	—				
前腕 囲	右	26.0	±1.6	—	23.2	±1.2	—	26.7	±1.8	—	23.4	±1.3	—			
	左	25.4	±1.5	—	22.5	±1.2	—	26.2	±1.7	—	22.7	±1.2	—			
大腕 囲	右	51.9	±2.9	—	52.8	±2.8	—	52.0	±2.9	—	53.8	±2.7	—			
	左	51.9	±3.0	—	52.4	±2.6	—	51.9	±2.8	—	53.6	±2.7	—			
下腕 囲	右	36.5	±2.3	—	36.2	±1.3	—	36.5	±2.0	—	36.3	±2.1	—			
	左	36.6	±2.3	—	36.2	±1.6	—	36.7	±1.9	—	36.2	±2.0	—			

第2表 機能(1)

	中学男子			中学女子			高校男子			高校女子			
	ハンドボール		全 平 国 均	ハンドボール		全 平 国 均	ハンドボール		全 平 国 均	ハンドボール		全 平 国 均	
	X̄	SD		X̄	SD		X̄	SD		X̄	SD		
背筋力 kg	117.1	±22.8	98.3	91.6	±20.8	69.9	150.3	±22.4	135.2	107.2	±19.9	82.5	
握力 kg	右	33.0	± 8.6	28.7	23.3	± 7.0	23.6	45.6	± 7.2	42.2	31.0	± 4.7	28.3
	左	30.2	± 8.4		21.9	± 4.3		41.7	± 5.6		31.3	± 4.7	
20m走 sec	3.42 ± 0.3			—			3.56 ± 0.32			—			
9m3往復 sec	15.1 ± 0.98			—			16.6 ± 0.77			—			
5回連続ローリング sec	5.56 ± 0.87			—			5.84 ± 1.23			—			
5回連続ローリング sec	5.56 ± 0.87			—			5.84 ± 1.23			—			

	大学男子			大学女子			一般男子			一般女子			
	ハンドボール		全 平 国 均	ハンドボール		全 平 国 均	ハンドボール		全 平 国 均	ハンドボール		全 平 国 均	
	X̄	SD		X̄	SD		X̄	SD		X̄	SD		
背筋力 kg	149.2	±32.7	138.6	119.4	±18.2	82.6	152.1	±22.2	—	122.1	±21.4	—	
握力 kg	右	49.6	± 7.4	44.8	32.1	± 6.2	28.5	55.5	± 8.2	—	32.5	± 6.7	—
	左	45.7	± 7.2		29.8	± 5.3		51.2	± 7.9		28.5	± 8.0	
20m走 sec	3.24 ± 0.3			—			3.55 ± 0.27			—			
9m3往復 sec	14.6 ± 1.03			—			15.8 ± 0.9			—			
5回連続ローリング sec	5.61 ± 0.89			—			5.32 ± 0.64			—			
5回連続ローリング sec	5.61 ± 0.89			—			5.32 ± 0.64			—			

第3表 機能(2)

	中学男子			中学女子			高校男子			高校女子			
	ハンドボール		全 平 国 均	ハンドボール		全 平 国 均	ハンドボール		全 平 国 均	ハンドボール		全 平 国 均	
	X̄	SD		X̄	SD		X̄	SD		X̄	SD		
パワー	垂直跳 cm	50.8	7.7	45.0	37.6	6.1	35.5	56.6	6.5	56.6	41.3	5.2	38.4
	遠投 m	30.7	4.3	22.9	21.8	2.7	15.1	34.5	4.6	27.9	24.7	3.2	16.4
	立三回跳	6.60	0.49	—	5.46	0.39	—	7.12	0.45	—	5.60	0.47	—
持久性	腕立伏臥伸腕屈伸H・S・T	36.5	25.6	—	21.3	6.7	—	51.9	17.4	—	23.2	10.1	—
柔軟性	体前屈	8.7	5.3	12.1	13.7	4.8	14.8	15.4	5.1	16.3	16.2	5.1	17.8
	上体そらし	51.4	9.0	51.1	57.5	5.8	54.0	56.8	7.7	57.3	57.4	7.5	57.4

	大学男子			大学女子			一般男子			一般女子			
	ハンドボール		全 平 国 均	ハンドボール		全 平 国 均	ハンドボール		全 平 国 均	ハンドボール		全 平 国 均	
	X̄	SD		X̄	SD		X̄	SD		X̄	SD		
パワー	垂直跳 cm	58.1	7.7	58.3	45.2	4.9	39.0	57.5	7.6	—	45.0	5.9	—
	遠投 m	38.5	4.2	28.2	25.9	2.4	16.3	40.2	8.1	—	29.2	2.3	—
	立三回跳	7.12	0.70	—	5.93	0.48	—	7.34	0.45	—	5.98	0.40	—
持久性	腕立伏臥伸腕屈伸H・S・T	52.7	20.0	—	26.4	14.7	—	43.8	20.4	—	30.5	9.6	—
柔軟性	体前屈 cm	15.2	8.8	16.0	18.4	5.0	17.5	15.7	4.6	—	18.6	4.4	—
	上体そらし cm	56.5	9.2	57.6	56.4	6.3	57.5	57.0	6.4	—	57.9	6.9	—

様のテスト項目がないのでここでは結果のみに留め、他は省略する。背筋力は全国平均と比べ全段階で優れていることがわかる。

特に男子については中学より高校間に著しい発達を示していることがうかがえる。

それ以後の大学、一般の段階では発達は見られずこの時期の筋力トレーニングの不足を物語っているのではないか。

これを女子についてみると中学校、大学、一般と微力ではあるが段階を経て発達しているようにある。次に握力についてみると前述の方法で全国平均値と比較検討を加えると、各々男女とも大きな開きはないようである。ただ中学女子においては有意差はないが、数字的な面より少し値が小さい。

これは中学女子ハンドボールチーム数が少ないのであるいは比較対象とするに当たらないかも知れぬ。

以上をハンドボールの段階別にみると男子においては背筋力と同よう、中学から高校の間に著しい発達を示しており、大学、一般と漸次伸びている傾向にある。女子については高校より上はあまり発達を示していない。敏捷性については全国との比較資料がないので検討はできないが、これを各発達段階でみると20m走については測定技術の問題もあり、これを解

釈するには大きな難点があることは当然とみるが、男子においては中学、高校より大学、一般がよいことがうかがわれる。女子については全般的な大きな変動がないと観察する。

9m3往復については男女とも発達段階に依りて伸びている。5回連続ローリングについては男子において高校に良い値を示している。女子は大学が高校男子に次いで良い値を示している(これらの敏捷性テストは今後検討を加える必要があると考える)。

C 機能Ⅱ(第3表参照)  
第3表は技能面の持久性、パワー、柔軟性である。

全国平均より総体的にすぐれているのは当然と思われるが、これらの項目については「ハンドボール投げ」を除いては、必ずしもそうとはいえないのである。柔軟性にいたっては殆どの種別で全国平均を下まわっている。

「ハンドボール投げ」においてははすべての種別で大きな差をもって秀れているが、これはハンドボール競技の特性上当然のことである。

「垂直とび」においては総体的に全国平均より秀れているが、中学男子、大学女子を除いては大きな差はなく、大学男子においては全国平均より下まわっている。ハンドボール競技はパワーの発

揮される場が非常に多い種目であり、一般の人より相当な差があるものと期待されたが、あまり著しい結果は得られていない。

男子と女子とを比較してみるとパワーや持久性の面では男子が相当の差をもって秀れているが、柔軟性については男子より女子の方が秀れている。

「立ち三段とび」「腕立伏臥」については、全国平均にその項目がないので比較することができないのが、全項目について発達段階に応じてみると、総体的に中学から高校のあいだでは、その発達は減少し大学から一般のあいだでは停滞していることが判った。

#### ハンドボールと指導要領

##### ◇中学校

昭和33年に定められた中学校教育課程も10余年を得て国民の生活水準、文化の向上また国際的地位の向上など現実と離れた存在個所が見出され今回の改訂となったのである。

中学校教育において人間としての調和と統一のある発達をめざす中で健康と体力の増進を図ることが要点とされ、男子、女子ともに昔日に比して体格の伸長著しいものが見られ、而も筋力、持久力、調整力などの体力は比例せず体力の要素によっては、かえって低下する傾向さえある。これは生活環

境の変化によるところ大であるが運動の場の制限、運動する機会の抑制などに基く運動不足が原因と云われている。

保健体育科では生徒の健康保持増進と体力の向上を特に留意、指導すべく盛られている。

改訂の目標は

- (1) 生徒の健康の保持増進と体力の向上について強調すること
- (2) 各学年の目標と内容については教科内容の性格上、保健と体育の両分野別にする。

体育分野の内容的なものをあげれば体操に柔軟性と歩・走・跳・投の全身運動を加えておりスポーツは従来と同様に器械運動、陸上競技、水泳、格技、球技、ダンス(女子)及び体育に関する知識とし陸上競技では走・跳投についての基礎的な内容を採りあげゴール型とネット型の運動のなかから代表的なものを採りあげる。

各運動領域の取り扱いについては、B項で「球技におけるサッカーでは運動場が狭く充分な指導ができない場合は他の種目(球技)に代えられること。またハンドボールとバスケットボールはいずれか一つ選択して指導すること」としている。

ハンドボール競技の立ち場からいえば、今回組み入れられたことは極めて重要な意味をもつ。

ハンドボールという球技が教材として多くの利点があることが再認識されたのは喜ばしい。——男女ともに実施できる共通種目である点並びに今回の改訂の特色である目的と方法の一致等との評価がなされ認識されたと考えられるからである。

#### ハンドボールの学習内容

前記した球技の中にはハンドボール、バスケットボール、バレーボール、サッカー(男子)と4種目が採りあげられ、各々その学習内容が記されている。特にハンドボールの項だけあげれば次のようである。

##### ◇

ハンドボールの技能はバスケットボールの技能に類似している点が多いので個人的技能、集団的技能及びゲームのいずれもバスケットボールの技能と同様の考えかたで構成している。

##### (ア) 個人の技能

個人の技能としてパス、ドリブル、シュート、フットワークを採りあげている。

パスにはチェストパス、両手または片手のアンダー・ハンドパス、ショルダー・パスが含まれている。味方や相手の位置に応じて使い分けできることが必要であり集団技能の成立に大きく影響するものである。



シュートにはジャンプシュートや倒れこみシュートなども含まれるがただ無理にシュートするのはなくドリブルやフットワークと結びつけて場面に応じて使えることが重要である。

例えばゴールに向かってまっすぐ又は斜めに走りこみながらパスを受けとめた後フェイントを使って相手の逆をついてドリブルで抜き去り、または離れてシュートができるようにすることである。

フットワークでは攻撃者に対して良い位置に動きゴールエリア付近でも攻撃者よりゴール側に位置したまっついて動き、守備ができることが大切である。また相手のパスで自分の近くを通る者に対してタイミングよく飛び出してカットができるようにする。

ゴールキーパー(GK)はボールの位置に応じて構える位置を変えながらボールを見、手足を使ってシュートボールを止めて、ゴール守備ができるようにすることである。

指導の要点としては、速い動作の中にも正確なキヤッチ、パスがもっとも要求されるので安定したフォームを作ることが重要だ。そして個人の技能の関連として集団的技能があることを強調する。

(イ) 集団的技能  
a 速攻……速攻では相手シュートをGKが防禦した後、GKのロ

ングパスを受けてワンマンダッシュや逆サイドの味方と連携して攻めたり防禦中にパスカットやドリブルカットした所から二三人が走ってシュートパスによる速攻ができることである。

指導の要点としては相手の防禦態勢が整わないうちに素早く攻めこむようにすること。走っている味方に正確にパスが通るようにすることである。

b カットイン・プレー……2、3、4でカットインしたり、クロスリターンを使った攻めやフェイントしてドリブルインなどを使って攻められるようにすることである。

指導の要点としては瞬間的に相手を引き離して攻めこめるようにすることである。

c ポスト・プレー……相手の防禦体形を見ながら動き機会をみて素早くポストマンにパスして攻めることが大切である。2・4システムや1・5システムの防禦に対して8字ローリング、クロスリターンやポストプレーを活用し人の動きとパスで相手をゆきぶり、カットインからジャンプシュートだけでなくポストからの倒れこみシュートなども攻撃できるようにすることが必要であろう。

d 対人防禦……原則的にはパスケットボールの場合に準じて考えられている。指導の要点としては相手

の動きに先んじてマークできると、防禦の相手を交替することが随時すばやくできるようにすることである。

e 地域防禦……二人が横に並び三人は三角形になるように構えて協力して間をあげないように動き合いパスをカットしたりドリブルインを防いだり、シュートをさせないように守る。

また2・4システムや1・5システムの位置と役割が判り相互に連携をとって守れるようにすることである。

指導の要点としてはボールの位置に留意してパスやドリブルインあるいはシュートを防ぐことである。

味方が互いに協力してよく動きシュートを防ぎ、あるいはパスカットをするなどして攻め返すところにある。

(ウ) ゲーム  
ゲームの内容としては既習の技能を利用したものと考えている。攻撃面では全員が広がって動き、途中カットインしたものにボールをパスしたり交差し走っている間にリターンパスプレーをするなどして積極的に攻めるようにする。

また、より組織だった動きとパスワークで速攻をしたり相手の防禦体形に応じてポストプレーを使ったりして攻撃する。

防禦についてはマン・ツウマンで守るが、速くスリッスローラインとゴールエリアラインの間の地域にもどり、この附近で攻撃者をとらえボール保持者の近くの者は協力してパスをカットしたりドリブルインを防ぐようにする。

また2・4システムや1・5システムのゾーンディフェンスも出来るようにGKからボールを速くパスして速攻に転ずることもできるようにする。

なお、ルールについては相手の身体を抑えないこと、ボールを持って「3歩・3秒」を越えないこと、ゴールエリアはGK以外は入れないことなどの基本的なものから、各種スローインからのゲームのはじめかた、特にゴールエリア近くでの攻撃側のフリースローやコーナースロー、また7Mスローやレフェリースローなどを理解させながらゲームが出来るようにする。

指導の要点としては技能の程度や指導の段階に応じチームの人数、ゲームの時間、ルールの扱いなどを具体的に決め攻防の策戦をたててゲームができるようにすることである。

なお審判についてもプレーに支障を起こさない限りコート内を動いて判定するなどゲームの運営ができるように指導する必要がある内容の構成については奥深くも

また浅くも広くも観せるようになってい

ハンドボールは必修選択というかたちをとるが、指導段階において初歩的段階、進んだ段階、さらに進んだ段階の三つを踏めるようになってい

る。これは内容の取り扱いになかて各学年に適切に配当して指導するものと記されていることを合致する。

### 中学、高校の指導の比較

#### ◇高等学校

高校の学習指導要領に於いても内容的には中学のそれと大差なくただ集団技能のカットインプレーポストプレーの代りにセットオフエンスつまり考えたプレー、策戦的な攻撃ができる年令である点を加味されている。

またゲームの所では「作戦」と明記され、ただゲームができるだけでなく中学校の上さらに高度なものを要求している。そして「規則」及び「審判」と付加され自主的運営をできるところまでの指導が求められている。

#### ◇中学校・高等学校の比較

##### 【中学校】

△集団的 速攻、カットインプレー  
▽個人的 パス、ドリブル、シュート、フットワーク  
△個人の 速攻、カットインプレー

第4表

習得技能種別		経過時間例15時															中一	中二	中三	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15				
モチベーションエクササイズ		5	5	2	2	2	2	1	1	1	1	1								
個人的技能	攻 撃	基礎	10	10	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	◎	◎	◎
		応用	10	10	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	◎	◎	◎
	防 禦	基礎			3	2	2	2	2	2	2	2							◎	◎
		応用				2	2	2	2	1	1	1							◎	◎
集団的技能	攻 撃	基礎			5	5	4	3	2	2	2							◎	◎	◎
		応用				2	2	6	3	3		1	3	3	4	5		◎	◎	◎
	防 禦	基礎							3	1	1	1	1						◎	◎
		応用			4	3	2	1	1	1									◎	◎
ゲーム	攻 撃	ゲーム				2	1	1	2	2								◎	◎	◎
		防 禦			2	1	2	1	1										◎	◎
	ルールの	競技用語		3	1	1	1	1	1	1	2	3	3	2	1	1		◎	◎	◎
		規則	10	3	2	1	1	1	1	1	2	2	3	3	3	5	5	◎	◎	◎
時間計	(分)	35	40	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45	45				

◎◎◎は強弱を表現する。

**中学における指導内容**  
 中学校の保健体育においては年間120単位時間、3年間で375単位時間となる。そして各分野に当てる時間は305単位時間を標準とされ各学年に等しく配当し「保健」として第1学年20単位時間、第2、3学年に各25単位時間で計70単位時間を差し引くと、「体育」は100?105単位時間が各学年配当となる。  
 そして体育分野として各学年初期の内容の手がかりとして初歩的段階に進んだ段階、さらに進んだ段階としてみる事が望ましいとされ、下記の表のように大きく区分され、このうち球技として採りあげら

格技、球技、ダンスについては生徒の能力・適性に応じて選択して取り扱う必修選択である。  
 球技はバスケットボール、ハンドボール、バレーボール、サッカー、ラグビーの5種目中2種目を必修としている。スキルの点、コートでの件、運動量などについて5種目中ハンドボールはもっとも適した球技であるといえることができる。

▽ゲーム 既習の技能 作戦、規則、審判  
 を利用したゲーム

1、ポストノンス、対人  
 プレー、対防禦、地域  
 人防禦、地防禦、地域  
 域防禦

その内容としては多々あるが各現場の実態もあって一般的なものをあげ、さらにその配当時間中に、而もその1時間内におけるドリルのとりかた及び継続動向を考えてみるとだいたい第4表のようなものになることが最良と考えられる。  
 【以下次号】  
 △注▽「ハンドボール指導テキスト」はかねてからその作成が望まれていたもので、普及部の手によりようやく草案ができあがった。普及部あるいは本誌編集部に御意見を寄せて願いたい。

れるのはハンドボール、バスケットボール、バレーボール、サッカー(男)の4種目で構成、集団対集団の相手との関連に於いて全員が直接または間接に組み立て活用する場としてゲームを考え、互いに関連したドリルを持たせている。

種 目	男子	女子
体 操	10~15%	10~15%
器 械 運 動	10~15	10~15
陸 上 競 技	10~15	10~15
水 格 技	5~10	5~10
球 技	10~20	~
ダ ン ス	30~35	25~30
体 育 に 関 す る 知 識	~	15~25
	5~10	5~10

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆  
海外トピックス

杉山 茂

ゲンメルスバッハの3連勝成  
ら

男子ヨーロッパ杯

1・2月は珍しくビッグトーナメントがなく、ヨーロッパの話題はもっぱら終盤を迎えた第12回男子ヨーロッパカップトーナメントに集っていたようだ。

波乱がつついた準々決勝(既報)の余波は準決勝にも及び第1戦の勝者が第2戦で激しく追われるもつれた展開をみせた。

史上初の3連勝を狙うゲンメルスバッハ(西ドイツ、昨春来日)はタトラン・プレソフ(チェコ)を第1戦一方的に破り、第2戦は19-18という乱戦で敗れた。また、バルチザン・ブジェロバル(ユーゴ)―MAIモスクワ(ソビエト)はブジェロバルが初戦を7点差でものにしながら第2戦を11-17で落とし、わずかに1点差で決勝進出を決めるキワドさだ

った。決勝戦は2月19日ドルトムントで約一万三千の観衆を集めて行われ、予想をくつがえしてブジェロバルが後半、得意の速攻でリードを奪い初優勝した。

(決勝の詳報は次号)

▽準決勝  
バルチザン・ブジェロバル (ユーゴ) 21 (10 11 | 1 7) 14  
MAIモスクワ (ソビエト) 17 (7 10 | 6 5) 11  
2試合合計32-31でバルチザンが勝つ。

▽2試合合計32-31でバルチザンが勝つ。  
ゲンメルスバッハ (西ドイツ) 12 (6 6 | 4 5) 5  
タトラン・プレソフ (チェコ) 19 (10 9 | 10 8) 18  
2試合合計30-24でゲンメルスバッハが勝つ。

▽決勝  
バルチザン・ブジェロバル (ユーゴ) 19 (10 9 | 9 9) 14  
ゲンメルスバッハ (西ドイツ) 10 (9 1 | 5 5) 14  
女子も強 一方第11回女子ヨーロッパ杯は1月

豪が順調 ロッパカップは1月未までに1回戦が終了、3連勝を狙うスバルタク・キエフ(ソビエト)をはじめプラスチック・ニタ(チェコ)、SC・ライプチヒ(東ドイツ)、ブカレスト大学(ルーマニア)ら強豪が順当に準々決勝へ勝ちあがった。

ソビエト、2大会に楽勝  
オリンピック地域予選を間近かに控えた各国はしきりとテストマッチを繰り返しているが、1月末

に行われた2大会ではソビエトが余裕を示して優勝を飾った。

なお、西ドイツ南部国際トーナメントで、ドイツ南部選抜の一人としてルブキングが久々に姿をみせ3試合で17点をマークした。

◇西ドイツ南部国際トーナメント(1月)

▽予選リーグA組  
西ドイツ南部 19-11 チュニジア  
ソビエト 17-5 チュニジア  
ソビエト 18-10 西ドイツ南部

▽同B組  
スイス 10-8 南バーデン  
南バーデン 10-9 デンマーク  
スイス 17-12 デンマーク

▽5位決定戦  
デンマーク 12-10 チュニジア  
▽3位決定戦  
西ドイツ南部 11-10 南バーデン

▽決勝  
ソビエト 12 (7 5 | 5 1) 6  
スイス 5 (1 1 | 1 1) 6  
◇ジンゲン(西ドイツ)国際招待

トーナメント(1月)  
ソビエト 11-3 チュニジア  
デンマーク 13-12 チュニジア  
ソビエト 19-8 スイス

ソビエト 13 (8 5 | 5 5) 10  
スイス 14-9 チュニジア  
デンマーク 10-7 スイス

このほか予選出場国の主な交流記録は次のとおり  
ポーランド 28-19 オーストリア

ポーランド 24-11 オーストリア  
オーストリア 28-11 イタリア  
オーストリア 27-8 イタリア  
オーストリア 22-9 イタリア

フランス 16-12 スイス  
フランス 15-13 スイス  
スイス 14 (分) 14  
スイス 18-11 オランダ

東ドイツ、ユーゴに苦戦  
東ドイツ女子国際トーナメントは1月末4ヶ国が参加して行われ、世界選手権1、2位の東ドイツ、ユーゴが2勝1敗となり得失点差でユーゴが優勝、デンマークがユーゴを破り注目された。

ルーマニア 9-8 デンマーク  
ユーゴ 12-10 東ドイツ  
デンマーク 13-12 ユーゴ  
東ドイツ 14-13 ルーマニア

ユーゴ 12-9 ルーマニア  
東ドイツ 8-6 デンマーク  
西ドイツ選 今シーズンの西ドイツ選手権を終る

イッチャンピオンを決めるファイナル・ラウンド(決勝トーナメント)は北部リーグ1・2位のVFL・ゲンメルスバッハ(昨春来日)、THW・キール(今春来日)、南部リーグ1・2位のFAギョッピンゲン、TV・グロスワルスタットの4クラブによって行われていたが、決勝はギョッピンゲン×ゲンメルスバッハの

顔合せとなり、前半7-7の接戦から、後半ギョッピンゲンがわずかに押し勝ち14-12で初優勝した

ミカドハンドボール



日本ハンドボール協会公認球



三力商会

東京・豊島・巢鴨・7丁目1696  
TEL (941) 2635・6592

# 近づくヨーロッパ、アフリカ予選

待望のミュンヘンオリンピックまであと半年、アジア、アフリカ予選について3月に入ると注目のヨーロッパ予選が行われ、月末のアフリカ予選で全代表16ヶ国が勢揃いする。

## 興味ある「4・5番目」の座

ヨーロッパ地域

▽期間 3月15～24日▽開催地 スペイン(マドリッドほか)▽参加16ヶ国、代表5ヶ国  
一昨年の世界選手権(パリ)でルーマニアほかトップクラスの8ヶ国がすでに代表権を得ており、いわばBグループの戦いだがソビエト、ノルウェーなどメダルを狙える強豪の顔も見え好内容となりそう。

4ヶ国づつ4組の予選リーグを勝ち抜くのはA組でアイスランドノルウェー(ほかにフィンランドベルギー)、C組でスイス、スペイン(ほかにルクセンブルグ、イギリス)、D組でソビエト、ポーランド(ほかにイタリア、ポルトガル)。  
実力伯仲なのはB組。各国とも強化に必死で互いの戦力分析も盛んだ。先シーズンまではフランス

オランダが一步リードしているとみられていたが、ブルガリア、オーストリアの追いあげも鋭く予断を許さない。

準決勝リーグは順当なら1組はアイスランド、ノルウェー、フランス、オランダ、2組はスイス、スペイン、ソビエト、ポーランドとなり1組のノルウェー、2組のソビエト、ポーランドの有利はここでも動くまい。

問題は残る二つのワクだ。アイスランドが僅差で抜け、あとをフランス、オランダ、スイス、スペイン、ブルガリアが激しく追う。

ルーマニアと1勝1敗(19-16 9-21)のスイス、そのスイスを連破したフランス、地元で意気あ

がるスペイン。すさまじい争いになりそうである。

このほか、北欧でもまれるフィンランド、新進イタリアの試合ぶりも注目され、ルクセンブルグには2m02のシュンメル、1m97のカルペンと二人の巨人選手がおり話題になっている。

16ヶ国はいずれもオリンピックを機会に国内スポーツ界におけるハンドボールの「位置づけ」をしようとしており、それだけにエキサイトした展開が続きそうだ。

## チュニジアが有力

アフリカ地域

▽期間 3月25～30日▽開催地 チュニジア▽参加6ヶ国、代表1ヶ国

## アメリカも出場権を握る

ミュンヘン・オリンピックのアメリカ地域予選は2月1日からアメリカイリノイ州のエルクハートに4ヶ国が集り、リーグ戦で行われた。

予想どおり、これまで国際経験の多いアメリカ、カナダの北米勢がアルゼンチン、メキシコの南米勢をリード、代表権争いはアメリカメキシコのカナダの最終戦にかかりアメリカが後半好守備を見せて優位に

強化に積極的なチュニジア、アルジェリア、アラブ連合(エジプト)の争いとみるのが順当。

なかでもチュニジアはサッカーにつづく人気スポーツにのしあがっているといわれ熱の入れかたも高い。

ソビエト、デンマークなどとの交流のほか昨年のマグレブカップでアルジェリア、モロッコを破った自信もモノをいいそうである。

アラブ連合も古い球歴をもつが最近ではイタリアに21-12、26-15と連勝、オーストリアに13-21で敗れたという情報があるだけ。

アルジェリアは東ドイツと比較的交流が多い。モロッコ、セネガル、カメルーンについてはあまり資料がないがセネガルがかなり腕をあげていると聞く。

## アメリカ大陸予選

1 (以上IHF推せん)

アメリカ	33	1716	11	メキシコ
カナダ	22	1111	11	アルゼンチン
アメリカ	22	157	13	アルゼンチン
カナダ	24	1212	3	メキシコ
アルゼンチン	29	20	6	メキシコ
アメリカ	15	9-9	11	カナダ
アルゼンチン	2	4	6	カナダ

①アメリカ勝ち点6 ②カナダ4 ③アルゼンチン2 ④カナダ0

日本ハンドボール協会検定球

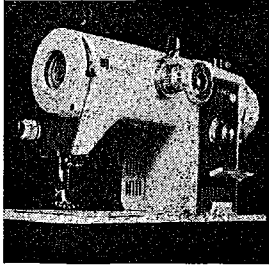
# モルテン

## 亀甲型 ハンドボール



モルテン工業株式会社  
広島・東京・大阪





■ジューキシンは精密工学の結晶とうたわれる高級品。シャープなスタイリングで、その名を高めています。

# 鍛えぬかれたフォームにこそ、 メカの真髓がある



## ジューキ

東京重機工業株式会社

# ミュンヘンオリンピック ク日本ハンドボール 応援団募集について

主催 日本ハンドボール協会  
期間 8月26日～9月13日  
人員 先着 40名  
費用 三三五、〇〇〇円(但し入  
場券・旅券代・注射代その  
他個人的費用は含まず)  
旅程(予定)  
8月26日 東京22・15発

8月27日～8月29日 ロンドン(市  
内観光ほか)  
8月29日～9月4日 ミュンヘン  
(オリンピックハンドボール観  
戦)  
9月4日～9月6日 コペンハー  
ゲン(古城めぐりほか)  
9月6日～9月8日 パリ(市内  
観光ほか)  
9月8日～9月10日 チェーリッ  
ヒ(ルツェンピラトス山観光ほ  
か)

9月10日～9月12日 ローマ(市  
内観光ほか)  
9月13日 東京19・50着  
◎ なお本件につき問合せは  
名古屋千種区豊年町三の三七  
(千四六四)  
全日本実業団ハンドボール連盟  
田中滋章まで  
(電)〇五二(71)一四四六  
詳細は次号にも掲載します。

# 大同製鋼、得失点差で位

## 実業団4強親善リーグ

東西実業団4強親善リーグ戦は  
1月15・16日の両日大阪・豊中市  
民体育館で開かれた。  
参加したのは全日本実業団選手  
権のビッグフォア。

これまでは、「4社定期戦」とい  
う性格で各社のコートなどを使い  
非公開だった大会。

「親善」と銘打つても国内最上  
位に立つ4チームのこと、10人の  
オリンピック候補を中心に公式戦  
なみの激戦をつづけた。

第1日、全日本チャンピオン・  
大崎電気(埼玉)が大同製鋼(愛  
知)に敗れ、この日2勝をマーク  
したワクナガ薬品(大阪)が優勢  
とみられたが、最終戦でワクナガ

は大崎に倒され、結局大同、ワク  
ナガ、大崎が同率で並び得失点差  
で大同製鋼の首位が決まった。

ワクナガ  
薬品 20(10|7) 15 大同製鋼  
(大阪)

大崎電気 21(8|7) 13 三  
(埼玉)

ワクナガ  
薬品 25(11|11) 20 三  
(大阪)

大同製鋼 26(13|13) 15 大崎電気

大同製鋼 23(11|12) 13 景

大崎電気 11(7|4) 9 景  
ワクナガ  
薬品

【順位】①大同製鋼2勝1敗(得失  
点差16) ②ワクナガ薬品2勝1敗  
(8) ③大崎電気2勝1敗(マイナ  
ス1) ④三景3敗

## 各地の記録

鋼管福山、日新に逆転勝ち

▼第1回広島県総合選手権(2月  
広島県立体育館)  
▽男子準々決勝  
日本鋼管 23|16 松本商高  
全広商大 17|13 呉工高  
三菱レ大竹 14|11 修道ク  
日新製鋼 22|12 広島大  
▽同準決勝  
日本鋼管 13|12 全広商大  
日新製鋼 17|16 三菱レ大竹  
▽同決勝  
日本鋼管 18(9|10) 15 日新製鋼  
福山

▽女子準決勝  
山陽女高 8|6 一女商OG  
山陽女OG 17|0 広島一女商  
▽決勝  
山陽女O 11(29|4) 4 山陽女高

▽1部  
トヨタ車体 24|13 トヨタ自工  
三友工業 23|12 トヨタ自工  
トヨタ自工 19|17 日本碍子  
大同製鋼 24|11 トヨタ車体  
新日鉄 24|7 日本碍子  
トヨタ車体 16|14 日本碍子  
トヨタ車体 25|9 三友工業  
大同製鋼 20|13 新日鉄  
トヨタ車体 31|16 トヨタ自工  
大同製鋼 14|10 トヨタ自工  
新日鉄 25|20 新日鉄  
大同製鋼 23|13 トヨタ自工  
新日鉄 21|11 日本碍子  
三友工業 21|14 三友工業

【順位】①大同製鋼5戦全勝②トヨ  
タ車体4勝1敗③新日鉄3勝2敗  
④三友工業⑤トヨタ自工⑥日本碍  
子

【2部順位】①ブラザー工業②三菱  
重工③タヨシ産業④パイロットイ  
ンキ⑤豊田工機⑥トヨタ学園⑦中  
部電力

女子で井草高1位

▼東京都城北地区選手権(1月・  
池袋商)  
▽男子順位①ハタクラブ②井草高  
ク③駿台ク  
▽女子順位①井草高②赤羽商高③  
池袋商高

大同製鋼、危気なし

▼第20回愛知県実業団リーグ(2  
月・名古屋市体育館)

日本ハンドボール協会公認



# ゴールドスター ハンドボール シューズ



岡山釣鐘工業株式会社 東京

イーグルス、ワクナガを降す

▼大阪室内選手権(1月、市中央体育館、府立体育館)  
男子23チーム、女子4チームが参加。4日間にわたって熱戦をくりひろげ、イーグルスは2回戦で大山商會を降し、決勝では、前半のリードを生かし、ワクナガを押しきり二連勝を飾った。

一方、女子は各高校のOGの対戦となったが、大谷クがぬげだした。

- ▽男子準々決勝(二三回戦)  
イーグルス 16-8 エースク  
佐野工ク B 25-11 三国丘ク  
春日丘ク 22-17 都島ク  
湧永薬品 23-2 城東ク
- ▽同準決勝  
イーグルス 18-9 春日丘ク  
湧永薬品 16-11 佐野工ク B
- ▽同決勝  
イーグルス 23(15-9)5(4-5)9 湧永薬品
- ▽一般女子準決勝(一回戦)  
大谷ク 16-2 大淀ク  
住吉学園ク 5-4 寝屋川ク
- ▽同決勝  
大谷ク 9(4-1)5(4-4)5 住吉学園

- 光電工業 17-13 桐生工OB
- 群馬教員 26-22 甘楽農OB
- 前橋工OB 15-7 富岡商
- ▽同準決勝  
前橋工OB 14-13 光電工業
- 群馬教員 41-19 富岡高OB
- ▽同決勝  
群馬教員 24(15-9)9(7-9)16 前橋工OB
- ▽女子準々決勝  
前橋市女 13-3 桐生女
- 下仁田高 8-5 高崎市女
- 前橋ビジ 18-5 高崎市女
- 前橋東商 9-6 群馬女短大附高
- ▽同準決勝  
前橋ビジ 22-5 前橋東商
- 下仁田高 8-7 前橋市女
- ▽同決勝  
下仁田高 12(7-5)4(7-7)11 前橋ビジ
- 群馬教員・下仁田高とも初優勝
- 海上自衛隊佐世保勝つ
- ▼第3回長崎県室内総合選手権(2月・長崎市国際体育館)男子  
▽準々決勝  
鹿町工高 17-4 全造船  
海自佐世保 12-8 長崎工高  
佐世保ク 15-10 高島高  
全口加高 19-8 長竜会
- ▽準決勝  
海自佐世保 12-10 鹿町工高  
佐世保ク 14-8 全国加高
- ▽決勝

海上自衛隊佐世保 15  
11-10-11 佐世保ク

実業団の2県対抗

▼東京・神奈川実業団対抗戦(2月・横浜市平沼記念体育館)  
昭和電工 24(15-9)3(5) 塚本商事  
日進商會 25(10-15)5(7) 荏原製作所(東京)  
日本鋼管 23(16-7)8(13) 調査研(東京)  
神奈川 37(23-14)4(8) サントリー(武蔵野)  
ル自動車 23(12-11)8(19) 日本発条(神奈川)  
大崎電氣 23(12-11)8(19) 日本発条(神奈川)

- ▼第七回宮城県ハンドボール祭(1月・宮城県スポーツセンター)  
一般女子 11-7 高校女子  
選抜 17-16 新人選抜  
高校男子 8-7 高校女子  
東軍 27-22 西軍  
学生選抜 18-16 高校男子  
高校男子 18-16 西軍
- 決勝は本田技研同士
- ▼三重県室内選手権・高校新人大會(1月4日市体育館)  
一般男子準々決勝  
鶴ノ森ク 17-16 三菱油化  
本田技研B 32-17 半田ク  
本田技研A 25-10 鳥羽商船

- 三重教員 26-18 三重大
- ▽同準決勝  
本田技研B 17-14 鶴ノ森ク
- 本田技研A 18-8 三重教員
- ▽同決勝  
本田技研 22(12-10)5(4)9 本田技研
- ▽高校男子準々決勝(三試合)  
四日市工 24-4 津
- 高田 23-14 亀山
- 四日市 18-13 四日市商
- ▽同準決勝  
四日市工 37-3 高田
- 津工 24-15 四日市
- ▽同決勝  
四日市工 26(13-13)1(4)5 津工
- ▽高校女子準々決勝  
亀山 16-2 上野
- 津女 20-2 菰野
- 上野商 8-3 松坂女
- ▽同準決勝  
津女 12-7 亀山
- 同決勝 10-1 上野商
- 津女 7(6-1)2(3)5 暁

- 海上第4 27-12 丸善石油
- ▽同決勝  
千葉教員 28(21-6)8(14) 海上第4
- ▽高校男子準々決勝  
市川 不戦勝 小更津
- 清水 9-7 木更津
- 八千代 7-6 佐原
- 鶴舞 10-4 東邦
- ▽同準決勝  
市川 15-5 清水
- 八千代 7-5 鶴舞
- ▽同決勝  
市川 11(4-7)1(2)3 八千代
- ▽高校女子準々決勝(二試合)  
東邦 4-3 鶴舞
- ▽同準決勝  
昭学院 10-1 八千代
- 佐原女 8-2 東邦
- ▽同決勝  
昭学院 4 2 佐原女
- 11-0-0 2
- 小祿高OBが勝つ(12月・首里中)
- ▼第1回沖縄一般男子クラブ大會  
▽準々決勝  
那覇商OB 20-13 豊貝城OB
- 沖繩ク 19-14 浦添OB
- 那覇ク 13-11 糸満OB
- 小祿OB 24-10 知工ク
- ▽同準決勝  
小祿OB 20-12 那覇ク

那覇商OB 29-12 沖繩ク  
▽同決勝  
小禄OB 15(4-7)12 B 那覇商O

女子で青森西高ゆるがず

▽第2回青森県教育長杯争奪高校選手権大会(1月・青森西高)  
▽男子1回戦(3試合)  
七戸 20-5 青森商  
三本木 11-6 弘前南  
鯨ヶ沢 14-13 柏木農

▽同準決勝  
七戸 21-3 青森東  
鯨ヶ沢 13-7 三本木

▽同決勝  
鯨ヶ沢 15(10-5)5 七戸  
▽女子決勝リーグ  
青森西 12-0 青森  
三本木 6-3 七戸  
七戸 11-5 青森  
青森西 13-0 三本木  
青森西 15-3 七戸

▽順位①青森西②三本木③七戸④青森

男子の上位は実業団

▽第3回刈谷地区(愛知)選手権(1月・トヨタ車体体育館)  
▽男子決勝リーグ  
トヨタ車体 23-3 豊田工機  
トヨタ自動車11-10 豊田工機  
トヨタ車体 20-11 トヨタ自動車  
▽同4-6位決定リーグ  
トヨタ車体B 18-9 トヨタ学園

昭和ク 20-13 トヨタ学園  
トヨタ車体B 15-8 昭和ク  
▽同7-9位決定リーグ  
豊田工高 8-7 豊田高専  
豊田工高 13-9 刈谷工高  
豊田工高 9-8 刈谷工高  
【順位】①トヨタ車体②連勝③トヨタ自動車④豊田工機⑤トヨタ車体B⑥昭和ク⑦トヨタ学園⑧豊田工高⑨刈谷工高

高校で児島、津山商進出

▽岡山県高校室内選手権(1月・岡山県営体育館)  
▽男子準々決勝  
倉敷工 14-5 青陵  
倉敷島 14-2 水工  
児島商 15-2 関西  
倉敷商 9-6 操山

▽同準決勝  
児島 9-4 倉敷工  
津山商 12-5 倉敷商

▽同決勝  
児島 12(8-4)2-1 3 津山商  
▽女子1回戦(2試合)  
西大寺 記録不明 落合  
金川 5-0 津山

▽同準決勝  
真備 14-2 西大寺  
津山商 6-4 金川

▽同決勝  
津山商 5(2-3)2-0 2 真備

添上、桜井商強し

▽奈良県高校選手権(1月・桜井商・奈良商)  
▽男子準々決勝  
添上 16-6 正強  
桜井商 7-6 敵傍  
奈良 6-2 郡山  
生駒 14-6 榛原

▽同準決勝  
添上 21-3 桜井商  
生駒 6-4 奈良

▽同決勝  
添上 6(5-1)2-2 4 生駒

▽女子準決勝  
生駒 4-2 添上  
桜井商 2-0 郡山

▽同決勝  
桜井商 2(1-1)0-1 1 生駒

国学院栃木が男女征覇

▽栃木県高校新人大会(1月・国学院)  
▽男子準々決勝  
国学院 16-1 足利商  
足利工 11-5 鳥山  
馬頭 31-9 宇都宮工

▽同準決勝  
国学院 10(3-7)4-9 足利工  
足利工 8-4 足利商

▽同決勝  
国学院 10(3-7)4-9 足利工

▽同3位決定戦  
馬頭 17-11 足利

▽女子準々決勝(2試合)  
足利女 4-3 馬頭  
栃木女 17-11 小山城南

▽同準決勝  
足利女 8-4 足利商  
国学院 16-3 栃木女  
▽同決勝戦  
国学院 14(9-1)0-1 1 足利女

▽同3位決定戦  
栃木女 不戦勝 足利商

さわやかなバブルガム  
アイスクリーガム BUBBLE GUM  
オレンジ アップル ストロベリー バナナ パインアップル グレープ  
カバヤ・リーフ株式会社・岡山市下石井1-2-3





刈谷市連盟章  
(小池美知子案)

愛知・刈谷市連盟が全国に呼びかけて募集した同連盟章のデザインは各地から24名59点が寄せられ1月13日関係者が選考の結果、浜松市の小池美知子さんの作品(別掲カット)に決まった。連盟章の全国公募というアイデアは斯界でも初めてだろうが稲住晋二・同連盟理事長は『刈谷市連の存在とハンドボールの全国的PR、その上すばらしい連盟章の決定と、『一石三鳥』の成果があった。北は岩手、南は宮崎まで全国から応募のあったことに感謝したい』と語っている。

### 全国応募の刈谷市連盟章

愛知・刈谷市連盟が全国に呼びかけて募集した同連盟章のデザインは各地から24名59点が寄せられ1月13日関係者が選考の結果、浜松市の小池美知子さんの作品(別掲カット)に決まった。連盟章の全国公募というアイデアは斯界でも初めてだろうが稲住晋二・同連盟理事長は『刈谷市連の存在とハンドボールの全国的PR、その上すばらしい連盟章の決定と、『一石三鳥』の成果があった。北は岩手、南は宮崎まで全国から応募のあったことに感謝したい』と語っている。

### 愛知の実業団にハンド

#### ボール専用コートが2つ

日本協会の会長も出席してブラザー対田村紡でオープンニングゲームを行なった。欧州帰りの三毛(田村)も出場したが8対8で引分け。2月20日の東海選手権まで勝負はおあつげとなつた。ブラザー体育館では7月の五大都市大会が計画され、秩父宮妃殿下もご観戦される予定である。

実業団球界で頭角をあらわしてきた大同製鋼とブラザー工業(ともに愛知)にハンドボール専用ともいえる体育館がこの程完成した。これにより実業団チームも体育館で練習する青白い選手が登場しそうだ。

大同体育館は名古屋市内南区大同町の大同製鋼星崎工場内に昨年9月18日竣工した。建築床面積は、3,300日。フロア面積は43m×30m、観らん席は300である。すでにオリンピック予選出場のためのナショナルチームが合宿で利用した。

ブラザー体育館は同市瑞穂区熱田東町浜新開の旧コート横に建てられ、本年1月11日竣工した。総床面積4,034日。フロアは50m×30mのフーリング観らん席は320で1月23日(日)田村

両体育館とも従来名古屋市内にある県市の両体育館より一般と明かるく、目もまばゆいばかりである。両社のチームがこの体育館完成により一層強くなつて欲しいものと熱望する。

ホームコートをもつチームが増えてくればヨーロッパ式の大会運営も夢ではなくなり、両体育館の完工はいろいろな意味で注目してよいものといえよう。(滋)

本誌は昭和40年に月刊になり、その後ずっと年間購読料千二百円、毎号百五十円の定価をすえ置いておりました。

しかしながら、最近の物価高騰のおおりをまともに受け、毎年々々、財政的には劣悪な条件をしいられるようになってきました。

その間、広告料の値上げ、広告主の増大、更には、チーム数の増加、個人購読者の中大なる増加によって、何とか定価すえおきのまま今日までやってくる事ができました。

### 編集部からのお願い

この間、印刷費は一回当たり十二〜十三万円であったものが、今日では、その倍近くにもなっております。これは印刷費以外の経費を節減することによって、やっときりぬけてきました。

ところが、昨年行なわれました第三種郵便料金の値上げは、従来一冊当り6円の料金が一挙に16円と三倍近い値上げとなりました。これは年間にしますと、一冊当り、

本年度もおわり、問題の山積したまま、47年を迎えます。右記のように本誌も値上げせざるを得なくなりまして、内容もそれにふさわしいもの

一一〇円の値上げとなり、正に直接、本誌の財政の上に大きくのかかってくるようになりまして、今後印刷費はますます高騰するところが予想されます。

財政的には、全くどうしようもないところに追いこまれ、このまま定価をすえおくことは、一般会計からの補助なしには雑誌の発行ができない状況にあります。

ところが、一般会計はやはり、財政的に全くピンチに陥っています。

ここで愛読者の皆様には全く申し訳ないのですが、従来の財政的ヒズミを解決すべく、昭和47年4月1日よりここに50%という大巾な値上げに踏みきらざるを得なくなりました。

47年4月以後、本誌の年間購読料は一千八百円(送料金)一冊は二百円になります。

どうか以上の点、御賢察に頂き、今後とも御愛読頂きませうお願いする次第です。日本ハンドボール協会編集部

にしたいと思っております。特に地方からの種々の投稿を熱望しています。何でもけっこうです。およせ下さい。

(F)

日本ハンドボール協会検定球



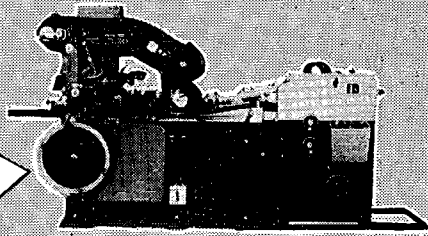
新製品 /  
チェコ型



東京

タチカラ株式会社

大阪



高性能機パーフェクトのほかにも  
たくさんのすぐれた印刷機材があります

## 印刷機械

●パーフェクト(全自動B四色凸版印刷機) ●各種断裁機

## 材料

●引戸式ケース馬 ●スチール製和文植字台 ●パテントゲラ棚…など多種

## 母型 活字 写真製版



### 千代田印刷機製造株式会社

本社 東京都千代田区神田猿樂町1の4 電話(03)(292)2011代~8  
横浜支社 横浜市西区高島2丁目10番20号 電話(045)(441)6782代~4  
福岡支社 福岡市御供所町3番36号 電話(092)(28)3960・0153  
千葉支社 千葉市市場通り122 電話(0472)(27)6463-(22)3979  
立川工場 昭島市東町1丁目1番5号 電話(0425)(23)3471-3  
九州工場 佐賀県小城郡牛津町 電話(95207)0072

『日本ハンドボール協会編  
『ハンドボール』』

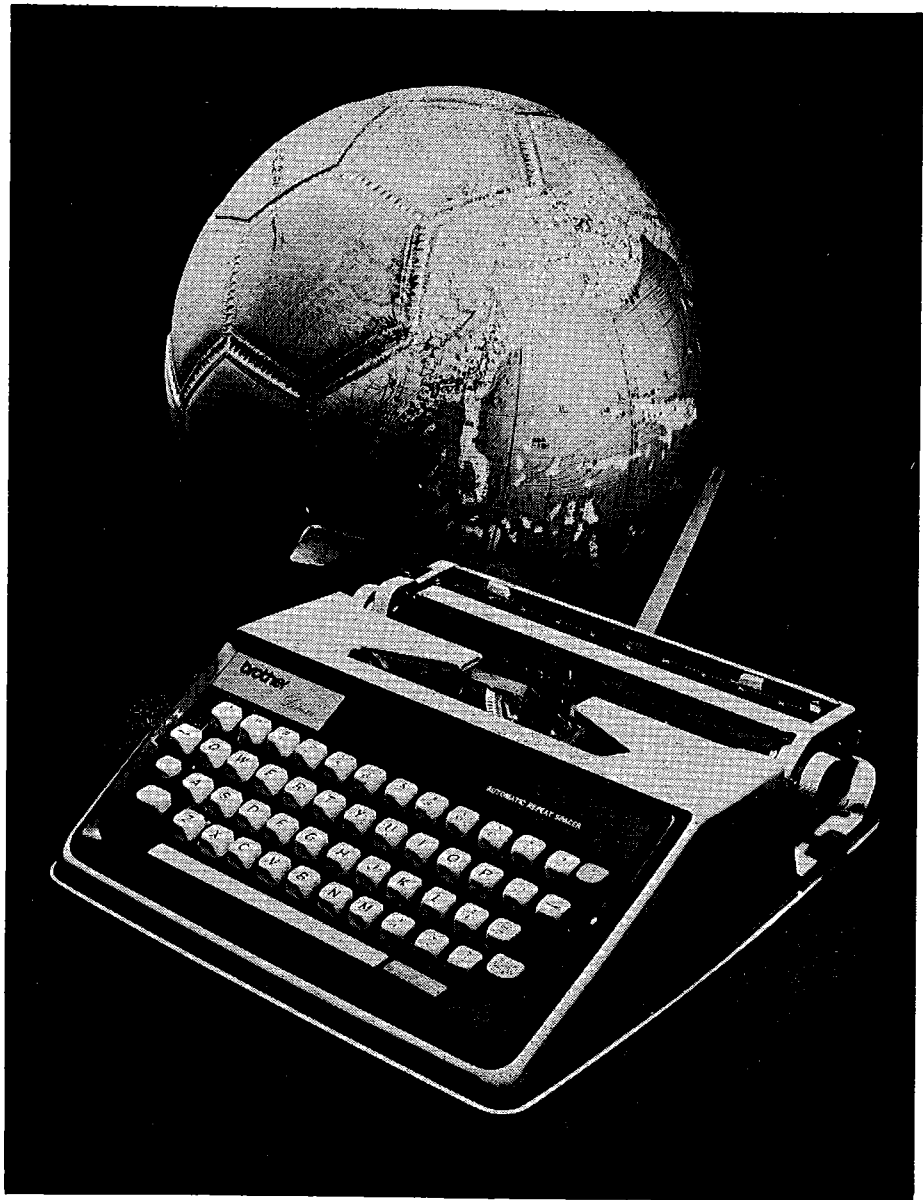
第九十五号

昭和四十年六月七  
第三種郵便物認可  
昭和四十七年二月二十五日印刷  
発行所  
昭和四十七年三月一日発行  
日本ハンドボール協会

都渋谷区神南一丁目  
電話 大代表(03)3211  
振替東京五八三四八番

編集兼  
発行人

保坂周助  
定価 百五十円



世界じゅうのタイプライターの  
うち、10台に1台はブラザー製  
110カ国に輸出されています。

**BROTHER**  
ブラザー

ブラザー工業株式会社  
ブラザーマシン販売株式会社  
本社 名古屋市瑞穂区堀田通9の35  
TEL 大代表 (811) 2511

スポーツに国境がないように  
世界で愛されるブラザータイプライター